

総務教育常任委員会資料

(平成27年9月14日)

【件名】

- ・ 平成27年度第2回鳥取県総合教育会議の開催結果について（教育総務課）…………… 1
- ・ 県立学校教職員パソコンにおけるマルウェア感染について（教育環境課）…………… 6
- ・ 平成27年度全国学力・学習状況調査 鳥取県の結果について（小中学校課）…… 7
- ・ 「鳥取県生活困窮世帯等の子どもの教育環境向上のための推進協議会」の開催概要
について（小中学校課）…………… 3 1
- ・ 平成27年度第2回鳥取県特別支援学校における医療的ケア運営協議会の概要について
（特別支援教育課）…………… 3 2
- ・ 「第32回全国高校生の手話によるスピーチコンテスト」における鳥取聾学校生徒の
入賞について（特別支援教育課）…………… 3 4
- ・ 「鳥取県キャリア教育推進協力企業」認定制度の創設について（高等学校課）…… 3 5
- ・ 高等学校における主権者教育の取組状況について（高等学校課）…………… 3 6
- ・ 鳥取県立図書館開館25周年記念シンポジウムの開催について（図書館）…………… 3 7
- ・ 第2回鳥取県美術館整備基本構想検討委員会の概要について（博物館）…………… 3 8
- ・ 企画展「日本近代洋画への道～山岡コレクションを中心に」の開催について（博物館）4 9
- ・ 平成27年度全国中学校体育大会の結果について（体育保健課）…………… 5 0

教 育 委 員 会



平成27年度第2回鳥取県総合教育会議の開催結果について

平成27年9月14日
とっとり元気戦略課
教育総務課

平成27年9月7日に本年度第2回目の鳥取県総合教育会議を開催しましたので、その結果を報告します。

1 日時等

- (1) 日時 平成27年9月7日(月) 午後3時から4時30分まで
(2) 場所 鳥取県立図書館 大研修室

2 出席者

知事、教育委員会(教育委員長、教育委員、教育長)、有識者委員

3 概要

(1) 教育委員会からの報告事項

教育委員会から、「平成27年度全国学力・学習状況調査」(以下「学力テスト」という。)結果及び特別支援教育における医療的ケア実施体制について報告がなされた。

(2) 意見交換

有識者委員から、学力テスト結果等も踏まえた、教育環境の充実に向けた新たな取組についてアイデア等をいただき、意見交換を行った。(別紙会議資料のとおり)

<有識者委員の主な意見等>

- ・本県の学力テスト結果で理数系が弱いことが改めて明らかになったため、鳥取県版SSH(スーパーサイエンスハイスクール)をつくるなど、理数系対策も視野に鳥取県ならではの取組強化が必要ではないか。
- ・特色ある学校づくりを進めるため、鳥取県版SGH(スーパーグローバルハイスクール)制度を、SSH(スーパーサイエンスハイスクール)やSAH(スーパーアスリートハイスクール)などへも拡大してはどうか。
- ・全国の学力テスト結果を見ると、アクティブラーニング(能動的学習)をよく行った小中学校ほど平均正答率が高い傾向が出ているため、アクティブラーニングの積極的な導入に向けて公私連携して取り組んではどうか。
- ・2020年度からの大学入試改革に向けた英語4技能(聞く、話す、読む、書く)を使える人材を育成するため、学校の枠や学年の枠を超えた英語能力別クラスによる英語授業を実施してはどうか。
- ・小学校中学年の学習の積み残しによる高学年時の遅れや中学校1年のギャップ解消のため、算数、国語の授業時間の工夫や教員の重点加配を検討してはどうか。
- ・教員の多忙感解消、生徒の競技力向上、新たな雇用創出のため、中学・高校の部活への外部指導者の導入を検討してはどうか。
- ・貧困をはじめとする問題を抱える子どもの背景に目を向けることのできる教員が増えるよう、教員研修の内容に工夫を加えてほしい。

4 知事総括

- ・本県の弱点である理数系を強化するため、実験の面白さや数学への興味付けなど、理数系をどうやって学び直していくのかを、考えていかなければいけない。
- ・学力テストの結果で差がついている市町村の遅れを取り戻す手法を考えることも必要である。
- ・今日の意見等を参考にして、これから当初予算に向けてどのような戦略を立てるのか、教育委員会と一緒に考えたいと思う。

5 今後の予定

今後、有識者委員からの意見をもとに、来年度以降の事業化に向けて検討を進める。

<参考>有識者委員名簿

氏名	主な所属
浅雄 淳子	鳥取県PTA協議会事務局長
石原 太一	NPO法人倉吉鴨水館館長
笠原 晶子	鳥取県ケータイ・インターネット教育推進員
椿 知夫	公益財団法人鳥取県体育協会常務理事、鳥取県スポーツ少年団副本部長
福島 史子	スクールソーシャルワーカー、鳥取大学医学部非常勤講師
山内 晃	学校法人翔英学園米子北斗中学校・高等学校長、鳥取県私立中学高等学校長会会長
横井 司朗	学校法人鶏鳴学園理事長、全国専修学校各種学校総連合会理事

有識者委員の皆様から寄せられた新たな取組へのアイデア等

1 学ぶ意欲を高める学校教育の推進～全国に誇れる学力を目指す学びの質の向上～

□大学入試改革を見据えた授業改革

・大学入試改革に向けた英語教育

「単語」の定着度が低く、「文法」の使用すらままならない生徒が多数存在する。英語の知識技能を身につけるため、授業においてディスカッションといった集団活動を取り入れ、英語文化でのコミュニケーションを体感させるとともに、地区ごとに、学年の枠、中学・高校の枠を超えた英語能力別クラスによる英語授業の実施を提案する。生徒の能力が均質化するため指導しやすいメリットもある。

・大学入試改革に備えた教員向け研修など

教授型授業でない、英語を用いた授業実施のための教員向け研修の増強と、カリキュラムの具体化に着手すべき。また、英語資格検定（TOEIC、TOEFL、TEAP等）の県内実施会場を増やすなど、受検機会の拡大が必要。

・大学入試改革に備えた研究チームの発足

数理研究・歴史統合・公共等の融合科目について、学校の枠を超えた指導力の高い教員を中心に組んだチームを発足し、研究に着手すべき。

□ICT教育

・土曜授業等を活用したICT教育

将来の起業につながるキャリア教育の観点からも、プログラミング言語の獲得を含めたICT教育が必須となる。まずは、土曜授業等を活用したモデル事業を試行してはどうか。

・タブレット端末を活用した課題実施

一人ひとりにタブレット端末を持たせ、課題を課すことで自主学習精度を高めていくほか、知識技術の習得においてどこに穴があるのか測定し、生徒の個々の学習段階を精査することで、生徒の自主的な知識技能習得を狙っていく。

・ICTツールの活用検討

筆の軌跡が読み取れるデジタルペンなど、様々なツールがあるため、発達段階に応じたICTツールの活用を検討すべき。

・学校情報化

「学校情報化診断システム」により、学校情報化の現状を自己評価により把握することは大切。タブレットを導入した学校生徒のタイピングスキルも心配。学校のICT環境を整えるに当たり、地教委、学校の担当者が教育の情報化を十分理解していない実態もあり、ある程度の機器体制案を県が提示してもよいと思う。

・ICT教育の一層の推進

環境整備、使用ルールを含めたICT活用ガイドライン作成、先進事例の共有、公私・校種を問わない研究指定校の設定と予算投下を提案。

□公私連携による学力強化

・鳥取県の教育施策全般を協議する機会と場の設定

公私を問わず、鳥取県の進める教育全般について論議・協議できる場の設定を望む。

・鳥取県全県一学校～公私・校種の垣根を越えて～

人口減少に伴い、学級減や学校統廃合も進む中、1学校単独でできることには限界が生じてくる。このため、学校間交流を盛んにし、1学校ではできないことを公私・学種を超えて連携する学校コミュニティの創設を検討いただきたい。

・エキスパート教員認定の対象範囲の拡張とエキスパート教員の学校間共有

認定の対象範囲を、教科科目に優れた私立学校教員、特定分野に優れた社会人や外国人にも拡張してはどうか。その際、臨時免許・特別免許の有効活用を検討いただきたい。エキスパート教員の授業を他校の生徒が受講できる仕組みを検討してはどうか。

・土曜授業の他校生への公開

A校の生徒が、B校のC先生の授業を受けられる仕組み、ポイント制・単位互換の工夫を検討いただきたい。

□進路指導

・将来像を具体的に想像させるための進路指導の強化

成績順の縦並びの進路指導に終始する印象があるが、将来像から逆算し夢を実現するために勉強の必要性を感じる「将来観」を養成するため、生徒が身近に感じる「専門課程に入った大学生」や「新卒3年程度の社会人」などと、進路選択に関する意見交換を実施するような機会をつくり、進路指導の強化を図ってはどうか。

2 社会全体で学び続ける環境づくり～協働連携して取り組む家庭・地域教育の推進～

□学習支援

・経済的困窮家庭への家庭学習支援

費用負担、送迎の負担感など課題の多い経済的困窮家庭への学習支援について、自宅中心で、パソコンさえあれば実施可能なICTを活用した低価格の学習指導を提案する。教材を用いる場合には、個人の学習意欲を阻害しないよう、学習レベルに応じた適切な指導を設定し、行政・教育委員会・民間教育機関がタッグを組んで実施すべき。

□人権教育

・子どもの人権予防教育プログラム

子どもの人権を守るために、「権利」を学び自分を守るためにできることを年齢に合わせて学ぶことはとても大切なこと。人権プログラム作成に取り組むとの話もきいているが、20年の歴史をもつCAPプログラムを地域で取り組んでもらいたい。すぐれたプログラムが出来ても、それを実施する人の人材育成が必須。

3 学校を支える教育環境の充実～安全・安心に学べる教育環境づくり～

□安心して学べる学校教育

・スクールカウンセラーによる教員支援

問題を抱える子どもの事案が増えており、スクールソーシャルワーカーの増員と質の向上が必要。同時に貧困をはじめとする子どもの背景に目を向けることができる視点を持った教員が増えていくことも共に必要。教員研修の内容に工夫を加えていただけるとありがたい。また、スクールソーシャルワーカーをエリア配置するのか、学校配置にするのかについては議論があると思うが、配置校や公立私立に関わらず必要に応じて県内の子どもたちが等しく問題解決の機会に恵まれる（派遣できる）ような仕組みづくりを考えていただきたい。

・子どもの貧困対策

就学前の子どもたちの環境格差是正のため、保健師、民生児童委員、青少年育成協議会等と連携した地域サポート体制の構築を。

・子どもが安心して学べる体制づくり

問題を抱える子どもの事案が増えており、スクールソーシャルワーカーの増員が必要。また、スクールソーシャルワーカーをエリア配置するのか、学校配置にするのかについては議論があると思うが、配置校や公立私立に関わらず必要に応じて派遣できるような仕組みづくりを考えていただきたい。

□情報モラル教育

・ネット断食プログラムを含む宿泊研修

ゲーム依存、ネット依存にならないために、Wi-Fiなど通信環境の整っていない施設で1週間程度の宿泊研修を行い、自然体験学習、メディア・リテラシー学習を行うネット断食プログラムの開発と実践を提案する。

・ケータイ・インターネット教育推進啓発事業

子どもと親が同じ学習をすることは情報共有として大切なことであり、学校主催の親子研修会について研修事業の補助対象としていただきたい。

□学校の魅力づくり

・鳥取県版SGHの拡大

児童生徒の興味関心を引き出し、探究心を養うため、鳥取県版SGH制度を拡大するとともに、国との重複採択を避け、公私・校種を問わず対象にしていきたい。

(例) 鳥取県版SSH (Super Science High School)

鳥取県版SGJH (Super Global Junior High School)

・鳥取県の県立高校の全国規模での推薦入試の導入検討が地方創生につながるための方策
(私立中高を含む。)

県立学校5校が来年度からの推薦入試の導入を検討していると聞いている。私学においても、特色ある学校の魅力を発信し、全国に向けて生徒募集を行いたいと考えるが、全国募集を掛け声倒れで終わらせないためには、受け入れのための学生寮や宿泊所などでの生徒指導が欠かせない。そこで公私問わず、地域ごとに利用できる学生寮・宿泊所の設置を検討するとともに、検討に当たっては、空き家活用と連動して考えることで市町村と連携した地方創生の取組となるのではないかと。

□教員の多忙感解消

・中学・高校の部活への外部指導者の導入

日本の中学校・高等学校では、放課後の部活動指導は教諭の仕事と位置付けられているが、多くの教諭が自分の専門の体育・文化活動を指導しているわけではない。外部指導者の大胆な導入により、新たな雇用の創出、競技力向上につながるとともに、多忙感解消につながり、本来の教科指導・学級経営に専念する時間をもてることで教育の質の向上につながる。

・ICT活用による事務作業の効率化

県立高校単位で行われているアナログな記録・報告方式を廃止し、デジタルへ移行させる事務作業の効率化を即時実施すべき。

□教育の質の向上

・小学3、4年生時期の重点的な教員配置、授業時間数の工夫

小学校中学年時の学習の積み残しが、高学年時の遅れや中学1年生ギャップの要因とならないよう算数・国語の授業時間の工夫や教員の加配をお願いしたい。

・幼保小の正規雇用教諭の増員等

教諭の非常勤化に懸念がある。正規雇用教諭の増に努めること。子どもの育成の質・専門性の向上を図ってほしい。さらに、臨時・非常勤職員とも十分な研修を受け、教育関係者としてのスキルを身に付けてほしい。

4 スポーツ・文化の振興～運動・スポーツに親しむ環境づくり、文化・伝統の継承、創造、再発見～

・幼少期の遊びの質の変換

自然を生かした遊びが十分でないこと、手先の不器用な子供が増えていること、発達障がいの子供への早期からの対応などのため、感覚統合の観点から遊びを捉え、実践することが必要。

・運動遊びの充実

幼少期から、運動遊びを通じて体を動かす機会を確保することが必要。子どもが発達段階に応じて身につけておくことが望ましい動きなどの運動プログラムを紹介した「アクティブチャイルドプログラム」というものがある。こうしたプログラムを、幼稚園や保育園で活用いただけたらと思う。

5 その他

・次期大綱作成に向けてキーワードを探す

県立学校教職員パソコンにおけるマルウェア感染について

平成27年9月14日
教育環境課

鳥取県立鳥取中央育英高等学校（以下、「中央育英高校」）において、教職員パソコン1台がウィルスに感染し、このパソコンとパソコンと接続しているファイルサーバのファイルが書き換えられ、暗号化されるという事案が発生しましたので報告します。

※マルウェア：不正かつ有害な動作を行う意図で作成された悪意のあるソフトウェア

1 発生日時

平成27年8月25日（火） 午前11時すぎ

2 発生原因

中央育英高校の教員が不正プログラムを配信するサイトにアクセスしてウィルスに感染。

- ・そのサイトは、当該教員が学園祭の参考とするため閲覧したもので、およそウィルスに感染するとは思えないもの。
- ・サイト名：文化祭・学園祭で揚げ物（唐揚げなど）模擬店をする時の注意点／模擬店向け業務用フライヤーレンタル日記

3 ウィルス感染の状況

パソコン及びパソコンと接続された校内のファイルサーバ内に保存されているファイルの拡張子（ファイルの種類を識別するためファイル名の末尾に付けられた文字列）が書き換えられ、更には暗号化されるため、ファイルが使用できなくなる。

4 対策状況

中央育英高校内のパソコンを含む全ての通信機器をネットワークから遮断した上で、感染原因、被害の内容とその範囲を調査した。

- ①中央育英高校の全てのパソコン及びサーバに、ウィルスにより書き換えされたファイルが無いか確認した。
- ②他の県立高校のファイルサーバに、ウィルスにより書き換えされたファイルが無いか確認した。
- ③中央育英高校で使用している全てのSDカード、USBメモリを調査した。
- ④感染したパソコンの操作履歴を調べ、メールやWEBサイトの閲覧状況を調査した。
- ⑤専門会社に対し、外部との通信履歴から情報流出の有無について調査を依頼した。

5 ウィルス感染の影響等

教職員パソコン1台に保存されていた約5,100件のファイルと中央育英高校のファイルサーバに保存されていた約14,600件のファイルが被害を受けた。なお、バックアップが取られていたため、業務への影響は発生しなかった。

6 情報流出の確認等

外部への情報流出は確認されず、また、専門会社の解析でも、「自己増殖型のウィルスではない」、「データを流出させるタイプのウィルスではない」ことが確認され、感染が広がることはないことから、8月28日（金）に中央育英高校のパソコン等をネットワークへ再接続した。

7 今後の対策

ウィルス対策ソフトを最新のウィルス定義に更新していたにもかかわらず感染してしまったことから、専門会社等の提案を含め、関係課と対策を検討中である。

平成27年度全国学力・学習状況調査 鳥取県の結果について

平成27年9月14日
小 中 学 校 課

平成27年4月21日に行いました全国学力・学習状況調査の調査結果が公表されましたので、鳥取県の結果について報告します。

1 調査について

- 本年度の調査は、全数（悉皆）調査であった。
- 3年ぶりに理科が実施された。（前回は平成24年度に抽出調査）

2 全体的な結果について

(1) 各教科

	調査結果(平均正答率)				[単位：％]					
	国語A		国語B		算数・数学A		算数・数学B		理科	
	本県(公立)	全国(公立)	本県(公立)	全国(公立)	本県(公立)	全国(公立)	本県(公立)	全国(公立)	本県(公立)	全国(公立)
小学校6年	71.5	70.0	66.8	65.4	74.6	75.2	45.2	45.0	60.1	60.8
中学校3年	76.9	75.8	66.2	65.8	64.3	64.4	41.2	41.6	53.0	53.0

- 国語は、小学校・中学校ともにA問題（主に知識に関する問題）及びB問題（主に活用に関する問題）すべてにおいて全国平均を上回った。
- それ以外の教科では、全国平均と比較して、大きな差はみられなかった。

(2) 児童生徒質問紙

肯定的な回答の状況（項目数）

	全質問項目数	全国平均を5%以上上回る	全国平均を5%以上下回る	肯定的な回答割合が80%を超える
小学校6年	87	4	4	37
中学校3年	87	10	3	26

3 分析

(1) 成果の見られる部分

- 「うまく伝わるように組み立てを工夫」、「わかりやすいノートづくり」、「学習内容の振り返り」等に関して概ね肯定的な回答が増え、思考の整理や言語活動、振り返りの場面が定着してきたことがうかがわれる。
- 「学級みんなでやり遂げてうれしかった」、「人の役に立ちたい」、「人の気持ちがわかる人間になりたい」と回答する児童生徒が多く、人間関係に対する高い意識を持ち、学級づくりや仲間づくりの取組の充実がうかがわれる。

(2) 課題となる部分

- 教科の学習について、自らが積極的に考える、まとめるといった学習活動に取り組んでいる反面、「記述式の問題」の正答率に伸びがない。思考をまとめる段階で適切な言葉や文字、式等を用いて説明する力を育成する場面を意図して設定するなど学習活動の充実を図る必要がある。
- 「将来の夢や目標を持っていますか」という質問に対する回答が全国平均と比較して低く、依然として課題である。「発表が得意」などの回答も全国平均を下回っており、主体的に取り組む児童生徒の育成と、自己肯定感や達成感を体得できる環境づくりが必要である。

4 今後の取組

- 有識者・学校関係者等を交えたワーキンググループで具体的な分析を行い、その結果に基づいた取組の指針を10月中に公表する予定。

【主な予定】

○学力向上のための指針等を示したリーフレットを全小中学校教員及び保護者に配布
[10月]

○学力向上に向けた説明会

- ・市町村（学校組合）教育委員会向け（指導主事等を対象とする）[10月]
- ・小中学校教員向け（東中西の3会場で実施）[11月]

平成27年度全国学力・学習状況調査結果 鳥取県の概要【資料】

平成27年9月14日

小中学校課

1 実施状況

※4月21日に実施した全数調査（公立学校）の結果を集計

【小学校6年生】

教科等	国語A	国語B	算数A	算数B	理科	質問紙
人数	5,014	5,011	5,013	5,011	5,011	5,010

【中学校3年生】

教科等	国語A	国語B	数学A	数学B	理科	質問紙
人数	4,945	4,952	4,959	4,960	4,960	4,954

2 教科の概要

(1) 小学校6年生

【平均正答率】

[単位: %]

	国語A		国語B		算数A		算数B		理科		調査方法
	本県(公立)	全国(公立)	本県(公立)	全国(公立)	本県(公立)	全国(公立)	本県(公立)	全国(公立)	本県(公立)	全国(公立)	
H27	71.5	70.0	66.8	65.4	74.6	75.2	45.2	45.0	60.1	60.8	悉皆
H26	77.0	72.9	56.5	55.5	78.6	78.1	58.1	58.2			悉皆
H25	63.9	62.7	50.4	49.4	78.1	77.2	60.2	58.4			悉皆
H24	83.2	81.6	56.2	55.6	72.8	73.3	57.3	58.9	59.6	60.9	抽出

国語

○国語A（主として知識）…14問

◆平均正答率・・・鳥取県 71.5%，全国 70.0%

- ・平均正答率が全国平均以上の問題は11問
- ・平均正答率が全国平均未満の問題は3問

《正答率が最も高い問題、または全国平均を最も上回った問題》

「学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく読む（招く）」問題

(鳥取県 97.9%，全国 97.5%)

「学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく書く（びょういん）」問題

(鳥取県 84.3%，全国 74.9%)

《正答率が最も低い問題》

「新聞のコラムを読んで、表現の工夫を捉える」問題

(鳥取県 18.1%，全国 19.8%)

○国語B（主として活用）…9問

◆平均正答率・・・鳥取県 66.8%，全国 65.4%

- ・平均正答率が全国平均以上の問題は7問
- ・平均正答率が全国平均未満の問題は2問

《正答率が最も高い問題、または全国平均を最も上回った問題》

「目的に応じ、中心となる語や文を捉える」問題

(鳥取県 86.7%，全国 86.0%)

「登場人物の気持ちの変化を想像しながら音読する」問題

(鳥取県 71.0%，全国 66.6%)

《正答率が最も低い問題》

「目的や意図に応じ、取材した内容を整理しながら記事を書く」問題
(鳥取県 33.1%, 全国 34.7%)

[国語関係の質問紙]

■全国平均より高い主なもの

「今回の国語の問題について、解答を文章で書く問題がありましたが、最後まで解答を書こうと努力した」
(鳥取県 80.9%, 全国 77.7%)

「国語の授業で意見などを発表するとき、うまく伝わるように話の組み立てを工夫している」
(鳥取県 63.3%, 全国 61.2%)

「国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしている」
(鳥取県 66.9%, 全国 65.2%)

「読書は好き」
(鳥取県 74.5%, 全国 72.8%)

■全国平均より低い主なもの

「国語の授業で文章を読むとき、段落や話のまとめりごとに内容を理解しながら読んでいる」
(鳥取県 75.8%, 全国 77.2%)

算数

○算数A (主として知識) …16問

◆平均正答率・・・鳥取県 74.6%, 全国 75.2%

- ・平均正答率が全国平均以上の問題は6問
- ・平均正答率が全国平均未満の問題は10問

《正答率が最も高い問題、または全国平均を最も上回った問題》

「繰り上がりのある2位数の加法の計算をする」問題 (鳥取県 98.4%, 全国 98.2%)

「除数が整数である場合の分数の除法の計算をする」問題 (鳥取県 88.3%, 全国 84.2%)

《正答率が最も低い問題》

「示された三角形が二等辺三角形になる根拠となる円の性質を選択する」問題
(鳥取県 46.4%, 全国 50.6%)

○算数B (主として活用) …13問

◆平均正答率・・・鳥取県 45.2%, 全国 45.0%

- ・平均正答率が全国平均以上の問題は7問
- ・平均正答率が全国平均未満の問題は6問

《正答率が最も高い問題、または全国平均を最も上回った問題》

「平行四辺形の性質を基に、平行四辺形を構成することができる辺の組み合わせを理解する」問題
(鳥取県 95.6%, 全国 95.2%)

「概数を用いた見積りの結果とそれに基づく判断を理解し、3000個集めればよい理由を記述する」問題
(鳥取県 25.4%, 全国 22.3%)

《正答率が最も低い問題》

「長方形の面積を2等分する考えを基に、分割された二つの図形の面積が等しくなる理由を記述する」問題
(鳥取県 11.9%, 全国 12.5%)

[算数関係の質問紙]

■全国平均より高い主なもの

「全ての書く問題で最後まで解答を書こうと努力した」 (鳥取県 76.3%, 全国 73.3%)

「算数の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いている」
(鳥取県 84.7%, 全国 83.8%)

「算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う」
(鳥取県 90.7%, 全国 90.4%)

■全国平均より低い主なもの

- 「算数の勉強が好き」 (鳥取県 60.9%, 全国 66.6%)
- 「算数の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないか考える」 (鳥取県 76.0%, 全国 79.1%)

理 科

○主として知識に関する問題…9問、主として活用に関する問題…15問

◆平均正答率・・・鳥取県 60.1%, 全国 60.8%

- ・平均正答率が全国平均以上の問題は11問
- ・平均正答率が全国平均未満の問題は13問

《正答率が最も高い問題、または全国平均を最も上回った問題》

- 「メダカの雌雄を見分ける方法を理解する」問題 (知識) (鳥取県 86.7%, 全国 78.0%)
- 「顕微鏡の名称を理解する」問題 (知識) (鳥取県 66.3%, 全国 61.6%)

《正答率が最も低い問題》

- 「析出する砂糖の量について分析するために、グラフを基に考察し、その内容を記述する」問題 (活用) (鳥取県 25.5%, 全国 28.9%)

[理科関係の質問紙]

■全国平均より高い主なもの

- 「全ての書く問題で最後まで解答を書こうと努力した」 (鳥取県 79.6%, 全国 76.1%)
- 「理科の授業で、観察や実験の進め方や考え方が間違っていないかを振り返っている」 (鳥取県 69.5%, 全国 67.1%)
- 「理科の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う」 (鳥取県 76.1%, 全国 74.5%)

■全国平均より低い主なもの

- 「理科の授業で、自分の予想をもとに観察や実験の計画を立てている」 (鳥取県 74.0%, 全国 75.3%)
- 「理科の授業で、観察や実験の結果から、どのようなことが分かったのか考えている」 (鳥取県 79.4%, 全国 80.4%)

(2) 中学校3年生

【平均正答率】

[単位: %]

	国語A		国語B		数学A		数学B		理科		調査方法
	本県(公立)	全国(公立)	本県(公立)	全国(公立)	本県(公立)	全国(公立)	本県(公立)	全国(公立)	本県(公立)	全国(公立)	
H27	76.9	75.8	66.2	65.8	64.3	64.4	41.2	41.6	53.0	53.0	悉皆
H26	79.5	79.4	51.2	51.0	67.4	67.4	59.7	59.8			悉皆
H25	77.6	76.4	68.6	67.4	64.8	63.7	43.0	41.5			悉皆
H24	76.0	75.1	65.2	63.3	64.0	62.1	49.5	49.3	52.4	51.0	抽出

国 語

○国語A (主として知識) …33問

◆平均正答率・・・鳥取県 76.9%, 全国 75.8%

- ・平均正答率が全国平均以上の問題は23問
- ・平均正答率が全国平均未満の問題は10問

《正答率が最も高い問題、または全国平均を最も上回った問題》

- 「語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使う (気象)」問題 (鳥取県 98.2%, 全国 97.6%)
- 「文脈に即して漢字を正しく書く (アマった)」問題 (鳥取県 77.6%, 全国 70.9%)

《正答率が最も低い問題》

「単語の類別について理解する」問題

(鳥取県 35.4%, 全国 33.7%)

○国語B (主として活用) …9問

◆平均正答率・・・鳥取県 66.2%, 全国 65.8%。

- ・平均正答率が全国平均以上の問題は5問
- ・平均正答率が全国平均未満の問題は4問

《正答率が最も高い問題、または全国平均を最も上回った問題》

「表現の工夫について自分の考えをもつ」問題

(鳥取県 87.7%, 全国 88.6%)

「状況に応じて、資料を活用して話す」問題

(鳥取県 75.3%, 全国 73.2%)

《正答率が最も低い問題》

「複数の資料から適切な情報を得て、自分の考えを具体的に書く」問題

(鳥取県 24.5%, 全国 23.0%)

[国語関係の質問紙]

■全国平均より高い主なもの

「読書は好き」

(鳥取県 72.1%, 全国 67.9%)

「国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしている」

(鳥取県 62.8%, 全国 59.2%)

「国語授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う」

(鳥取県 85.9%, 全国 84.2%)

■全国平均より低い主なもの

「国語の授業の内容はよく分かる」

(鳥取県 72.3%, 全国 74.3%)

「今回の国語の問題について、解答を文章で書く問題がありましたが、最後まで解答を書こうと努力した」

(鳥取県 75.2%, 全国 76.4%)

数学

○数学A (主として知識) …36問

◆平均正答率・・・鳥取県 64.3%, 全国 64.4%

- ・平均正答率が全国平均以上の問題は22問
- ・平均正答率が全国平均未満の問題は14問

《正答率が最も高い問題、または全国平均を最も上回った問題》

「比の意味を理解する」問題

(鳥取県 94.1%, 全国 93.6%)

「具体的な事象における数量の関係を捉え、連立二元一次方程式をつくる」問題

(鳥取県 48.9%, 全国 44.9%)

《正答率が最も低い問題》

「数量の関係を文字式に表す」問題

(鳥取県 21.5%, 全国 22.2%)

○数学B (主として活用) …15問

◆平均正答率・・・鳥取県 41.2%, 全国 41.6%

- ・平均正答率が全国平均以上の問題は8問
- ・平均正答率が全国平均未満の問題は7問

《正答率が最も高い問題、または全国平均を最も上回った問題》

「振り返って立てられた構想に沿って、事象を数学的に表現し、その意味を解釈する」問題

(鳥取県 67.8%, 全国 67.3%)

「与えられた情報から必要な情報を選択し、的確に処理する」問題

(鳥取県 30.3%, 全国 29.3%)

《正答率が最も低い問題》

「事象を式の意味に即して解釈し、その結果を数学的な表現を用いて説明する」問題
(鳥取県 11.0%, 全国 11.7%)

[数学関係の質問紙]

■全国平均より高い主なもの

「数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う」
(鳥取県 74.7%, 全国 72.5%)

「数学の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いている」
(鳥取県 81.2%, 全国 80.6%)

「数学の勉強は大切だと思う」
(鳥取県 83.1%, 全国 82.6%)

■全国平均より低い主なもの

「数学の授業の内容がよく分かる」
(鳥取県 67.6%, 全国 71.6%)

「数学の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないか考える」
(鳥取県 64.3%, 全国 67.5%)

理科

○主として知識に関する問題…7問、主として活用に関する問題…18問

◆平均正答率・・・鳥取県 53.0%, 全国 53.0%

・平均正答率が全国平均以上の問題は14問

・平均正答率が全国平均未満の問題は11問

《正答率が最も高い問題、または全国平均を最も上回った問題》

「塩化ナトリウムを化学式で表す」問題 (知識) (鳥取県 80.3%, 全国 79.6%)

「技術の仕組みを示す場面において、スイッチの入り切りによる磁界の変化を説明する」問題
(活用) (鳥取県 61.5%, 全国 56.8%)

《正答率が最も低い問題》

「他者の考察を検討して改善し、水の状態変化と関連付けて雲の成因を正しく説明する」問題
(活用) (鳥取県 15.3%, 全国 14.5%)

[理科関係の質問紙]

■全国平均より高い主なもの

「理科の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う」
(鳥取県 58.3%, 全国 54.3%)

「理科の勉強は大切だと思う」
(鳥取県 72.7%, 全国 69.3%)

「理科の授業で、自分の考えや考察をまわりの人に説明したり発表したりしている」
(鳥取県 41.5%, 全国 38.4%)

■全国平均より低い主なもの

「理科の授業では、理科室で観察や実験を月1回以上行った」 (鳥取県 81.1%, 全国 83.9%)

「理科の授業で、観察や実験の結果をもとに考察していますか」
(鳥取県 65.7%, 全国 67.2%)

3 質問紙調査の概要

※ [] 内の数字は、質問番号

※ 全国平均を上回っている数値…赤字、下回っている数値…青字

○小中共通 [5]

「難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦していますか」に肯定的な回答

小学校 鳥取県 77.2%, 全国 76.4%

中学校 鳥取県 69.1%, 全国 68.8%

○小中共通〔9〕

「将来の夢や目標を持っていますか」に肯定的な回答

小学校 鳥取県 84.9%、全国 86.5%

中学校 鳥取県 70.6%、全国 71.7%

○小中共通〔13〕

「学校の授業時間以外に、普段（月～金曜日）1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか」に「2時間以上」という回答

小学校 鳥取県 19.9%、全国 25.7%

中学校 鳥取県 31.5%、全国 35.7%

○小中共通〔14〕

「土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか」に「3時間以上」という回答

小学校 鳥取県 7.8%、全国 11.9%

中学校 鳥取県 18.0%、全国 17.7%

○小中共通〔16〕

「学校の授業時間以外に、普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか」に「10分以上」という回答

小学校 鳥取県 64.5%、全国 64.2%

中学校 鳥取県 58.2%、全国 52.2%

○小中共通〔17〕

「本を読んだり、借りたりするために、学校図書館・室や地域の図書館へどれくらい行きますか」に「週に1回以上」という回答

小学校 鳥取県 27.9%、全国 17.6%

中学校 鳥取県 18.2%、全国 8.2%

○小中共通〔20〕

「家で自分で計画を立てて勉強をしていますか」に肯定的な回答

小学校 鳥取県 64.9%、全国 62.8%

中学校 鳥取県 50.2%、全国 48.8%

○小中共通〔22〕

「家で学校の授業の予習をしていますか」に肯定的な回答

小学校 鳥取県 40.6%、全国 43.4%

中学校 鳥取県 27.2%、全国 35.3%

○小中共通〔23〕

「家で学校の授業の復習をしていますか」に肯定的な回答

小学校 鳥取県 56.5%、全国 54.5%

中学校 鳥取県 49.6%、全国 52.0%

○小中共通〔27〕

「今住んでいる地域の行事に参加していますか」に肯定的な回答

小学校 鳥取県 81.5%、全国 66.9%

中学校 鳥取県 53.9%、全国 44.8%

平成27年度全国学力・学習状況調査

【小学校】児童質問紙調査結果から

全国との比較

質問 番号	質問事項	県	全国	差(%)
		肯定的回答		
1	朝食を毎日食べていますか	96.2	95.6	0.6
2	毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか	79.6	79.5	0.1
3	毎日、同じくらいの時刻に起きていますか	91.2	91.0	0.2
4	ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがありますか	94.0	94.5	-0.5
5	難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦していますか	77.2	76.4	0.8
6	自分には、よいところがあると思いますか	75.9	76.4	-0.5
7	友達の前で自分の考えや意見を発表することは得意ですか	49.8	51.2	-1.4
8	友達と話し合うとき、友達の話や意見を最後まで聞くことができますか	93.3	92.9	0.4
9	将来の夢や目標を持っていますか	84.9	86.5	-1.6
10	普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、テレビやビデオ・DVDを見たり、聞いたりしますか(2時間以上見ている)	63.0	59.2	3.8
11	普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム(コンピュータ、携帯型、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む)をしますか(1時間以上する)	46.3	54.6	-8.3
12	普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、通話やメール、インターネット(携帯電話やスマートフォンを使う場合も含む)をしますか(1時間以上する)	12.7	16.9	-4.2
13	学校の授業時間以外に、普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾や家庭教師も含む)(2時間以上勉強している)	19.9	25.7	-5.8
14	土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾や家庭教師も含む)(3時間以上勉強している)	7.8	11.9	-4.1
15	学習塾(家庭教師も含む)で勉強をしていますか	37.3	47.0	-9.7
16	学校の授業時間以外に、普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか(教科書や参考書、漫画や雑誌は除く)(10分以上している)	64.5	64.2	0.3
17	本を読んだり、借りたりするために、学校図書館・室や地域の図書館にどれくらい行きますか(教科書や参考書、漫画や雑誌は除く)(週に1回以上行く)	27.9	17.6	10.3
18	家の人(兄弟姉妹は除く)と学校での出来事について話をしますか	78.2	79.5	-1.3
19	家の人(兄弟姉妹は除く)は、授業参観や運動会などの学校の行事に来ますか	96.9	96.6	0.3
20	家で自分で計画を立てて勉強をしていますか	64.9	62.8	2.1
21	家で学校の宿題をしていますか	96.0	96.8	-0.8
22	家で学校の授業の予習をしていますか	40.6	43.4	-2.8
23	家で学校の授業の復習をしていますか	56.5	54.5	2.0
24	学校に行くのは楽しいと思いますか	85.9	87.0	-1.1

平成27年度全国学力・学習状況調査

【小学校】児童質問紙調査結果から

全国との比較

質問番号	質問事項	県	全国	差(%)
		肯定的回答		
25	あなたの学級では、学級会などの時間に友達同士で話し合って学校のきまりなどを決めていると思いますか	83.6	80.5	3.1
26	学級みんなで協力して何かをやり遂げ、うれしかったことがありますか	87.7	86.1	1.6
27	今住んでいる地域の行事に参加していますか	81.5	66.9	14.6
28	地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がありますか	64.2	63.9	0.3
29	地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか	40.8	44.8	-4.0
30	新聞を読んでいますか(週に1回以上読んでいる)	29.3	23.7	5.6
31	テレビのニュース番組やインターネットのニュースを見ますか(携帯電話やスマートフォンを使う場合も含む)	80.7	84.3	-3.6
32	学校のきまりを守っていますか	91.5	91.1	0.4
33	人の気持ちが分かる人間になりたいと思いますか	94.1	93.9	0.2
34	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか	97.1	96.2	0.9
35	人の役に立つ人間になりたいと思いますか	94.4	93.7	0.7
36	「総合的な学習の時間」の授業で学習したことは、普段の生活や社会に出たときに役に立つと思いますか	87.0	85.4	1.6
37	「総合的な学習の時間」では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか	68.5	65.8	2.7
38	授業では、自分の考えを発表する機会が与えられていたと思いますか(5年生まで)	88.4	86.7	1.7
39	授業では、学級の友達との間で話し合う活動をよく行っていたと思いますか(5年生まで)	86.5	85.2	1.3
40	授業では、学級やグループの中で自分たちで課題を立てて、その解決に向けて情報を集め、話し合いながら整理して、発表するなどの学習活動に取り組んでいたと思いますか(5年生まで)	75.7	74.2	1.5
41	授業では、はじめに授業の目標(めあて・ねらい)が示されていたと思いますか(5年生まで)	90.2	86.3	3.9
42	授業では、最後に学習内容を振り返る活動をよく行っていたと思いますか(5年生まで)	78.3	75.3	3.0
43	授業で扱うノートには、学習の目標(めあて・ねらい)とまとめを書いていたと思いますか	90.0	87.1	2.9
44	400字詰め原稿用紙2～3枚の感想文や説明文を書くことは難しいと思いますか	60.0	60.1	-0.1
45	学校の授業などで、自分の考えを他の人に説明したり、文章を書いたりすることは難しいと思いますか	53.7	55.2	-1.5
46	学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか	67.4	66.9	0.5
47	授業の中で分からないことがあったら、どうすることが多いですか(友達に尋ねる)	40.3	30.8	9.5
48	国語の勉強は好きですか	61.7	61.1	0.6

平成27年度全国学力・学習状況調査

【小学校】児童質問紙調査結果から

全国との比較

質問 番号	質問事項	県	全国	差(%)
		肯定的回答		
49	国語の勉強は大切だと思いますか	91.8	92.0	-0.2
50	国語の授業の内容はよく分かりますか	83.1	82.0	1.1
51	読書は好きですか	74.5	72.8	1.7
52	国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	89.3	88.6	0.7
53	国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしていますか	66.9	65.2	1.7
54	国語の授業で意見などを発表するとき、うまく伝えるように話の組み立てを工夫していますか	63.3	61.2	2.1
55	国語の授業で自分の考えを書くとき、考えの理由が分かるように気を付けて書いていますか	71.9	72.7	-0.8
56	国語の授業で文章を読むとき、段落や話のまとまりごとに内容を理解しながら読んでいますか	75.8	77.2	-1.4
57	今回の国語の問題について、解答を文章で書く問題がありましたが、最後まで解答を書こうと努力しましたか	80.9	77.7	3.2
58	算数の勉強は好きですか	60.9	66.6	-5.7
59	算数の勉強は大切だと思いますか	92.4	93.1	-0.7
60	算数の授業の内容はよく分かりますか	78.7	81.0	-2.3
61	算数の授業で新しい問題に出合ったとき、それを解いて見たいと思いますか	75.9	77.5	-1.6
62	算数の問題の解き方が分からないときは、諦めずにいろいろな方法を考えますか	79.4	79.6	-0.2
63	算数の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えますか	64.8	67.7	-2.9
64	算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	90.7	90.3	0.4
65	算数の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないか考えますか	76.0	79.1	-3.1
66	算数の授業で公式やきまりを習うとき、その根拠を理解するようにしていますか	80.2	80.6	-0.4
67	算数の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いていますか	84.7	83.8	0.9
68	今回の算数の問題について、解答を言葉や数、式を使って説明する問題がありましたが、最後まで解答を書こうと努力しましたか	76.3	73.3	3.0
69	理科の勉強は好きですか	83.8	83.5	0.3
70	理科の勉強は大切だと思いますか	88.0	86.9	1.1
71	理科の授業の内容はよく分かりますか	88.5	87.9	0.6
72	自然の中で遊んだことや自然観察をしたことがありますか	87.1	86.9	0.2

平成27年度全国学力・学習状況調査

【小学校】児童質問紙調査結果から

全国との比較

質問 番号	質問事項	全国との比較		差(%)
		県 肯定的回答	全国	
73	理科の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えますか	68.3	69.3	-1.0
74	理科の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	76.1	74.5	1.6
75	将来、理科や科学技術に関係する職業に就きたいと思いますか	26.5	28.8	-2.3
76	理科の授業で、自分の考えをまわりの人に説明したり発表したりしていますか	55.2	54.9	0.3
77	理科の授業では、理科室で観察や実験をどのくらい行いましたか(月1回以上)	89.3	90.0	-0.7
78	観察や実験を行うことは好きですか	88.8	90.1	-1.3
79	理科の授業で、自分の予想をもとに観察や実験の計画を立てていますか	74.0	75.3	-1.3
80	理科の授業で、観察や実験の結果から、どのようなことが分かったのか考えていますか	79.4	80.4	-1.0
81	理科の授業で、観察や実験の進め方や考え方が間違っていないかを振り返って考えていますか	69.5	67.1	2.4
82	今回の理科の問題で、解答を文章などで書く問題がありましたが、最後まで解答を書こうと努力しましたか	79.6	76.1	3.5
83	解答時間は十分でしたか(国語A)	83.2	83.3	-0.1
84	解答時間は十分でしたか(国語B)	67.8	67.6	0.2
85	解答時間は十分でしたか(算数A)	84.1	84.6	-0.5
86	解答時間は十分でしたか(算数B)	61.1	63.7	-2.6
87	解答時間は十分でしたか(理科)	77.1	79.6	-2.5

平成27年度全国学力・学習状況調査

4年間の比較

【小学校】質問紙調査結果から

※斜線は質問項目がなかったもの

質問	質問事項	H27	H26	H25	H24
		肯定的な回答(%)			
1	朝食を毎日食べていますか	96.2	96.9	97.0	97.0
2	毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか	79.6	81.3	80.7	78.5
3	毎日、同じくらいの時刻に起きていますか	91.2	91.3	91.6	91.8
4	ものごとを最後までやりとげて、うれしかったことがありますか	94.0	94.3	94.1	94.6
5	難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦していますか	77.2	78.1	76.3	
6	自分には、よいところがあると思いますか	75.9	78.4	75.6	77.7
7	友達の前で自分の考えや意見を発表することは得意ですか	49.8	51.4	52.3	
8	友達と話し合うとき、友達の話や意見を最後まで聞くことができますか	93.3	93.9	93.2	
9	将来の夢や目標を持っていますか	84.9	85.9	85.3	84.8
10	普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、テレビやビデオ・DVDを見たり、聞いたりしますか(2時間以上見ている)	63.0	61.4	65.9	68.7
11	普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム(コンピュータ、携帯型、携帯電話やスマートフォンを使ったゲーム含む)をしますか(1時間以上する)	46.3	46.4	47.9	43.0
12	普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、通話やメール、インターネット(携帯・スマホ含む)をしますか(1時間以上する)	12.7	9.7	16.3	16.0
13	学校の授業時間以外に、普段(月～金曜日)、1日あたりどれくらいの時間、勉強をしますか(2時間以上勉強している)	19.9	20.9	23.6	20.7
14	土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日あたりどれくらいの時間、勉強をしますか(3時間以上勉強している)	7.8	8.2	8.8	7.2
15	学習塾(家庭教師を含む)で勉強していますか	37.3	36.9	39.0	36.2
16	学校の授業時間以外に、普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか(10分以上読書している)	64.5	67.6	68.9	64.8
17	本を読んだり、借りたりするために、学校図書館・室や地域の図書館へどれくらい行きますか(週に1回以上行く)	27.9	34.5	37.1	30.1
18	家の人(兄弟姉妹除く)と学校での出来事について話をしますか	78.2	80.8	76.8	75.9
19	家の人(兄弟姉妹除く)は、授業参観や運動会などの学校の行事に来ますか	96.9	96.7	95.9	
20	家で自分で計画を立てて勉強をしていますか	64.9	65.3	61.8	57.2
21	家で学校の宿題をしていますか	96.0	96.0	96.9	96.3
22	家で学校の授業の予習をしていますか	40.6	43.5	40.2	39.4
23	家で学校の授業の復習をしていますか	56.5	58.7	56.1	53.8
24	学校に行くのは楽しいと思いますか	85.9	85.8	85.7	

平成27年度全国学力・学習状況調査

【小学校】質問紙調査結果から

4年間の比較

※斜線は質問項目がなかったもの

質問	質問事項	H27	H26	H25	H24
		肯定的な回答(%)			
25	あなたの学級では、学級の友達同士で話し合っ て学級のきまりなどを決めていると思 いますか	83.6			79.9
26	学級みんなで協力して何かをやり遂げ、う れしかったことはありますか	87.7	88.5		
27	今住んでいる地域の行事に参加していま すか	81.5	83.2	79.1	77.9
28	地域や社会で起こっている問題や出来事 に関心がありますか	64.2	64.4	57.1	
29	地域や社会をよくするために何をすべきか を考えることがありますか	40.8	40.7	37.3	
30	新聞を読んでいますか(週に1回以上読ん でいる)	29.3	33.1	34.3	
31	テレビのニュース番組やインターネットの ニュースを見ますか(携帯電話やスマー トフォンを使う場合含む)	80.7	81.6	78.8	
32	学校のきまりを守っていますか	91.5	93.2	92.4	91.9
33	人の気持ちが分かる人間になりたいと思 いますか	94.1	95.1	93.3	94.1
34	いじめは、どんな理由があってもいけな いことだと思いますか	97.1	96.7	96.8	96.5
35	人の役に立つ人間になりたいと思いま すか	94.4	94.6	94.3	94.5
36	「総合的な学習の時間」の授業で学習した ことは、普段の生活や社会に出たときに 役に立つと思いますか	87.0	87.8	84.5	88.3
37	「総合的な学習の時間」では、自分で課 題を立てて情報を集め整理して、調べた ことを発表するなどの学習活動に取 り組んでいますか	68.5	69.8	66.7	
38	授業では、自分の考えを発表する機会が 与えられていると思いますか(5年生ま で)	88.4	86.4	85.8	81.2
39	授業では、学級の友達との間で話し合 う活動をよく行っていたと思いますか (5年生まで)	86.5	88.7	84.6	77.6
40	授業では、学級やグループの中で自分た ちで課題を立てて、その解決に向けて情 報を集め、話し合いながら整理して、発 表するなどの学習活動に取り組んでい たと思いますか	75.7			
41	授業では、はじめに授業の目標(めあて ・ねらい)が示されていたと思いま すか(5年生まで)	90.2	87.6	89.1	
42	授業では、最後に学習内容を振り返る活 動をよく行っていたと思いますか(5年 生まで)	78.3	75.1	76.5	
43	授業で扱うノートには、学習の目標(め あて・ねらい)とまとめを書いていた と思いますか	90.0			
44	400字づめ原稿用紙2~3枚の感想文 や説明文を書くのは難しいと思いま すか	60.0	61.7	64.3	68.3
45	学校の授業などで、自分の考えを他の 人に説明したり、文章に書いたりする のは難しいと思いませんか	53.7	54.3	57.2	60.1
46	学級の友達との間で話し合う活動を通 じて、自分の考えを深めたり、広げ たりすることができていると思いま すか	67.4	69.6		
47	授業の中で分からないことがあったら 、どうすることが多いですか(友達に尋 ねる)	40.3	36.6	41.5	
48	国語の勉強は好きですか	61.7	61.5	58.5	66.5

平成27年度全国学力・学習状況調査

【小学校】質問紙調査結果から

4年間の比較

※斜線は質問項目がなかったもの

質問	質問事項	H27	H26	H25	H24
		肯定的な回答(%)			
49	国語の勉強は大切だと思いますか	91.8	91.8	91.8	93.6
50	国語の授業内容はよく分かりますか	83.1	83.2	81.3	84.2
51	読書は好きですか	74.5	75.5	74.7	75.1
52	国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	89.3	88.4	89.4	89.6
53	国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしていますか	66.9	66.2	62.2	62.0
54	国語の授業で意見などを発表するとき、うまく伝わるように話の組み立てを工夫していますか	63.3	64.3	61.0	57.5
55	国語の授業で自分の考えを書くと、考えの理由が分かるように気をつけて書いていますか	71.9	72.6	68.7	71.5
56	国語の授業で文章を読むとき、段落や話のまとまりごとに内容を理解しながら読んでいますか	75.8	75.2	71.2	72.1
57	解答を文章で書く問題がありましたが、最後まで解答を書こうと努力しましたか	80.9	79.7	72.3	75.6
58	算数の勉強は好きですか	60.9	63.8	65.0	61.0
59	算数の勉強は大切だと思いますか	92.4	92.2	92.5	91.4
60	算数の授業内容はよく分かりますか	78.7	79.4	80.9	76.6
61	算数の授業で新しい問題に出合ったとき、それを解いてみたいと思いますか	75.9	78.0	77.2	77.4
62	算数の問題の解き方が分からないときは、諦めずにいろいろな方法を考えますか	79.4	80.5	80.5	80.6
63	算数の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えますか	64.8	64.9	65.1	63.8
64	算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	90.7	89.2	90.4	90.2
65	算数の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないか考えますか	76.0	78.7	79.0	77.9
66	算数の授業で公式やきまりを習うとき、そのわけを理解するようにしていますか	80.2	82.0	81.1	80.0
67	算数の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いていますか	84.7	86.8	83.7	85.2
68	解答を言葉や数、式を使って、説明する問題がありましたが、最後まで解答を書こうと努力しましたか	76.3	82.5	78.6	73.3
69	理科の勉強は好きですか	83.8			82.7
70	理科の勉強は大切だと思いますか	88.0			87.3
71	理科の授業の内容はよく分かりますか	88.5			86.4
72	自然の中で遊んだことや自然観察をしたことがありますか	87.1			86.1

平成27年度全国学力・学習状況調査

【小学校】質問紙調査結果から

4年間の比較

※斜線は質問項目がなかったもの

質問	質問事項	H27	H26	H25	H24
		肯定的な回答(%)			
73	理科の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えますか	68.3			61.7
74	理科の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	76.1			75.4
75	将来、理科や科学技術に関係する職業に就きたいと思いますか	26.5			26.3
76	理科の授業で、自分の考えをまわりの人に説明したり発表したりしていますか	55.2			47.4
77	理科の授業では、理科室で観察や実験をどのくらい行いましたか(月1回以上)	89.3			
78	観察や実験を行うことは好きですか	88.8			87.4
79	理科の授業で、自分の予想をもとに観察や実験の計画を立てている(月1回以上)	74.0			
80	理科の授業で、観察や実験の結果から、どのようなことが分かったのか考えている	79.4			76.0
81	理科の授業で、観察や実験の進め方や考え方が間違っていないかを振り返って考えていますか	69.5			67.2
82	解答を文章などで書く問題がありましたが、最後まで解答を書こうと努力しましたか	79.6			73.6
83	解答時間は十分でしたか(国語A)	83.2	86.3	42.6	78.3
84	解答時間は十分でしたか(国語B)	67.8	47.3	52.5	67.0
85	解答時間は十分でしたか(算数A)	84.1	89.1	70.7	82.6
86	解答時間は十分でしたか(算数B)	61.1	75.4	66.1	63.6
87	解答時間は十分でしたか(理科)	77.1			76.5

平成27年度全国学力・学習状況調査

【中学校】生徒質問紙調査結果から

全国との比較

質問 番号	質問事項	県	全国	差(%)
		肯定的回答		
1	朝食を毎日食べていますか	94.6	93.5	1.1
2	毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか	78.6	75.2	3.4
3	毎日、同じくらいの時刻に起きていますか	92.6	92.1	0.5
4	ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがありますか	94.4	94.2	0.2
5	難しいことでも、失敗を恐れないで挑戦していますか	69.1	68.8	0.3
6	自分には、よいところがあると思いますか	68.3	68.1	0.2
7	友達の前で自分の考えや意見を発表することは得意ですか	47.9	49.6	-1.7
8	友達と話し合うとき、友達の話や意見を最後まで聞くことができますか	94.2	93.0	1.2
9	将来の夢や目標を持っていますか	70.6	71.7	-1.1
10	普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、テレビやビデオ・DVDを見たり、聞いたりしますか(2時間以上見ている)	57.0	55.7	1.3
11	普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム(コンピュータ、携帯式、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む)をしますか(1時間以上する)	53.4	57.8	-4.4
12	普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、通話やメール、インターネット(携帯電話やスマートフォンを使う場合も含む)をしますか(1時間以上する)	37.4	47.6	-10.2
13	学校の授業時間以外に、普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾や家庭教師も含む)(2時間以上勉強している)	31.5	35.7	-4.2
14	土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾や家庭教師も含む)(3時間以上勉強している)	18.0	17.7	0.3
15	学習塾(家庭教師も含む)で勉強をしていますか	51.9	60.9	-9.0
16	学校の授業時間以外に、普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか(教科書や参考書、漫画や雑誌は除く)(10分以上読書している)	58.2	52.2	6.0
17	本を読んだり、借りたりするために、学校図書館・室や地域の図書館にどれくらい行きますか(教科書や参考書、漫画や雑誌は除く)(週に1回以上行く)	18.2	8.2	10.0
18	家の人(兄弟姉妹は除く)と学校での出来事について話をしますか	73.5	73.7	-0.2
19	家の人(兄弟姉妹は除く)は、授業参観や運動会などの学校の行事に来ますか	87.2	83.4	3.8
20	家で自分で計画を立てて勉強をしていますか	50.2	48.8	1.4
21	家で学校の宿題をしていますか	90.6	89.3	1.3
22	家で学校の授業の予習をしていますか	27.2	35.3	-8.1
23	家で学校の授業の復習をしていますか	49.6	52.0	-2.4
24	学校に行くのは楽しいと思いますか	82.2	82.1	0.1

平成27年度全国学力・学習状況調査

【中学校】生徒質問紙調査結果から

全国との比較

質問 番号	質問事項	県	全国	差(%)
		肯定的回答		
25	あなたの学級では、学級会などの時間に友達同士で話し合って学校のきまりなどを決めていると思いますか	78.5	78.3	0.2
26	学級みんなで協力して何かをやり遂げ、うれしかったことがありますか	84.5	84.2	0.3
27	今住んでいる地域の行事に参加していますか	53.9	44.8	9.1
28	地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がありますか	56.0	55.9	0.1
29	地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか	32.5	32.9	-0.4
30	新聞を読んでいますか(週に1回以上読んでいる)	25.6	18.8	6.8
31	テレビのニュース番組やインターネットのニュースを見ますか(携帯電話やスマートフォンを使う場合も含む)	82.7	83.9	-1.2
32	学校の規則を守っていますか	94.6	94.4	0.2
33	人の気持ちが分かる人間になりたいと思いますか	95.7	94.9	0.8
34	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか	94.6	93.7	0.9
35	人の役に立つ人間になりたいと思いますか	94.2	93.7	0.5
36	「総合的な学習の時間」の授業で学習したことは、普段の生活や社会に出たときに役に立つと思いますか	78.3	74.6	3.7
37	「総合的な学習の時間」では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか	57.1	58.0	-0.9
38	授業では、自分の考えを発表する機会が与えられていたと思いますか(1, 2年生のとき)	89.5	85.9	3.6
39	授業では、生徒の間で話し合う活動をよく行っていたと思いますか(1, 2年生のとき)	86.0	78.2	7.8
40	授業では、学級やグループの中で自分たちで課題を立てて、その解決に向けて情報を集め、話し合いながら整理して、発表するなどの学習活動に取り組んでいたと思いますか(1, 2年生のとき)	73.4	65.7	7.7
41	授業では、はじめに授業の目標(めあて・ねらい)が示されていたと思いますか(1, 2年生のとき)	90.0	79.7	10.3
42	授業では、最後に学習内容を振り返る活動をよく行っていたと思いますか(1, 2年生のとき)	64.9	59.3	5.6
43	授業で扱うノートには、学習の目標(めあて・ねらい)とまとめを書いていたと思いますか	79.4	73.7	5.7
44	400字詰め原稿用紙2~3枚の感想文や説明文を書くことは難しいと思いますか	62.5	64.4	-1.9
45	学校の授業などで、自分の考えを他の人に説明したり、文章を書いたりすることは難しいと思いますか	61.6	64.4	-2.8
46	生徒の間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか	65.5	62.9	2.6
47	授業の中で分からないことがあったら、どうすることが多いですか(友達に尋ねる)	44.3	35.9	8.4
48	国語の勉強は好きですか	59.2	60.5	-1.3

平成27年度全国学力・学習状況調査

【中学校】生徒質問紙調査結果から

全国との比較

質問 番号	質問事項	県	全国	差(%)
		肯定的回答		
49	国語の勉強は大切だと思いますか	90.2	89.9	0.3
50	国語の授業の内容はよく分かりますか	72.3	74.3	-2.0
51	読書は好きですか	72.1	67.9	4.2
52	国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	85.9	84.2	1.7
53	国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしていますか	62.8	59.2	3.6
54	国語の授業で意見などを発表するとき、うまく伝えるように話の組み立てを工夫していますか	55.5	54.0	1.5
55	国語の授業で自分の考えを書くとき、考えの理由が分かるように気を付けて書いていますか	65.7	65.7	0.0
56	国語の授業で文章を読むとき、段落や話のまとまりごとに内容を理解しながら読んでいますか	71.0	70.6	0.4
57	今回の国語の問題について、解答を文章で書く問題がありましたが、最後まで解答を書こうと努力しましたか	75.2	76.4	-1.2
58	数学の勉強は好きですか	53.6	56.0	-2.4
59	数学の勉強は大切だと思いますか	83.1	82.6	0.5
60	数学の授業の内容はよく分かりますか	67.6	71.6	-4.0
61	数学ができるようになりたいと思いますか	90.9	91.5	-0.6
62	数学の問題の解き方が分からないときは、諦めずにいろいろな方法を考えますか	68.8	69.8	-1.0
63	数学の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えますか	40.4	40.9	-0.5
64	数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	74.7	72.5	2.2
65	数学の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないか考えますか	64.3	67.5	-3.2
66	数学の授業で公式やきまりを習うとき、その根拠を理解するようにしていますか	69.5	70.1	-0.6
67	数学の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いていますか	81.2	80.6	0.6
68	今回の数学の問題について、解答を言葉や数、式を使って説明する問題がありましたが、最後まで解答を書こうと努力しましたか	48.9	51.3	-2.4
69	理科の勉強は好きですか	62.7	61.9	0.8
70	理科の勉強は大切だと思いますか	72.7	69.3	3.4
71	理科の授業の内容はよく分かりますか	67.3	66.8	0.5
72	自然の中で遊んだことや自然観察をしたことがありますか	76.4	75.5	0.9

平成27年度全国学力・学習状況調査

【中学校】生徒質問紙調査結果から

全国との比較

質問 番号	質問事項	県	全国	差(%)
		肯定的回答		
73	理科の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えますか	46.8	46.9	-0.1
74	理科の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	58.3	54.3	4.0
75	将来、理科や科学技術に関係する職業に就きたいと思いますか	23.3	22.9	0.4
76	理科の授業で、自分の考えや考察をまわりの人に説明したり、発表したりしていますか	41.5	38.4	3.1
77	理科の授業では、理科室で観察や実験をどのくらい行いましたか(月1回以上)	81.1	83.9	-2.8
78	観察や実験を行うことは好きですか	79.2	80.1	-0.9
79	理科の授業で、自分の予想をもとに観察や実験の計画を立てていますか	54.9	55.0	-0.1
80	理科の授業で、観察や実験の結果をもとに考察していますか	65.7	67.2	-1.5
81	理科の授業で、観察や実験の進め方や考え方が間違っていないかを振り返って考えていますか	56.7	55.0	1.7
82	今回の理科の問題について、解答を文章などで書く問題がありましたが、最後まで解答を書こうと努力しましたか	51.5	51.8	-0.3
83	解答時間は十分でしたか(国語A)	94.8	94.4	0.4
84	解答時間は十分でしたか(国語B)	86.4	86.0	0.4
85	解答時間は十分でしたか(数学A)	90.4	90.6	-0.2
86	解答時間は十分でしたか(数学B)	76.1	76.6	-0.5
87	解答時間は十分でしたか(理科)	84.8	85.3	-0.5

平成27年度全国学力・学習状況調査

【中学校】質問紙調査結果から

4年間の比較

※斜線は質問項目がなかったもの

質問	質問事項	H27	H26	H25	H24
		肯定的な回答(%)			
1	朝食を毎日食べていますか	94.6	95.1	95.8	95.8
2	毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか	78.6	75.3	77.1	76.8
3	毎日、同じくらいの時刻に起きていますか	92.6	92.0	92.4	92.3
4	ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがありますか	94.4	94.4	93.7	93.0
5	難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦していますか	69.1	68.1	65.9	
6	自分には、よいところがあると思いますか	68.3	67.7	66.0	69.7
7	友達の前で自分の考えや意見を発表することが得意ですか	47.9	47.6	48.5	
8	友達と話し合いとき、友達の話や意見を最後まで聞くことができますか	94.2	93.3	92.6	
9	将来の夢や目標を持っていますか	70.6	69.4	70.9	71.7
10	普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、テレビやビデオ・DVDを見たり、聞いたりしますか(2時間以上)	57.0	57.5	58.4	60.7
11	普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム(コンピュータ、携帯型、携帯電話やスマートフォンを使ったゲーム含む)をしますか(1時間以上する)	53.4	53.5	46.7	39.3
12	普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、通話やメール、インターネット(携帯・スマホ含)をしますか(1時間以上する)	37.4	38.0	45.5	40.1
13	学校の授業時間以外に、普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(2時間以上勉強している)	31.5	31.1	33.3	31.8
14	土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(3時間以上勉強している)	18.0	18.1	17.3	17.2
15	学習塾(家庭教師を含む)で勉強をしていますか	51.9	52.1	52.9	55.5
16	学校の授業時間以外に、普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか(10分以上読書している)	58.2	58.0	56.0	57.0
17	本を読んだり、借りたりするために、学校図書館・室や地域の図書館へどれくらい行きますか(週に1回以上行く)	18.2	15.1	17.9	19.0
18	家の人(兄弟姉妹除く)と学校での出来事について話をしますか	73.5	72.6	68.9	67.7
19	家の人(兄弟姉妹除く)は、授業参観や運動会などの学校の行事に来ますか	87.2	86.4	85.2	
20	家で自分で計画を立てて勉強をしていますか	50.2	47.1	46.2	43.8
21	家で学校の宿題をしていますか	90.6	89.8	89.5	89.5
22	家で学校の授業の予習をしていますか	27.2	27.0	24.0	22.4
23	家で学校の授業の復習をしていますか	49.6	46.0	45.2	44.4
24	学校に行くのは楽しいと思いますか	82.2	83.2	81.0	

平成27年度全国学力・学習状況調査

【中学校】質問紙調査結果から

4年間の比較

※斜線は質問項目がなかったもの

質問	質問事項	H27	H26	H25	H24
		肯定的な回答(%)			
25	あなたの学級では、学級の友達同士で話し合って学級のきまりなどを決めていると思いますか	78.5			75.6
26	学級みんなで協力して何かをやり遂げ、うれしかったことがありますか	84.5	85.3		
27	今住んでいる地域の行事に参加していますか	53.9	52.2	48.7	44.6
28	地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がありますか	56.0	54.4	48.9	
29	地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか	32.5	28.9	23.7	
30	新聞を読んでいますか(週に1回以上読んでいる)	25.6	27.9	31.1	
31	テレビのニュース番組やインターネットのニュースを見ますか(携帯電話やスマートフォンを使う場合含む)	82.7	82.5	84.6	
32	学校の規則を守っていますか	94.6	93.6	93.8	94.0
33	人の気持ちが分かる人間になりたいと思いますか	95.7	95.4	94.4	95.2
34	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか	94.6	94.6	94.8	95.0
35	人の役に立つ人間になりたいと思いますか	94.2	94.9	93.6	94.6
36	「総合的な学習の時間」の授業で学習したことは、普段の生活や社会に出たときに役に立つと思いますか	78.3	75.3	74.2	76.6
37	「総合的な学習の時間」の授業では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか	57.1	55.4	53.0	
38	授業では、自分の考えを発表する機会が与えられていたと思いますか(1, 2年生のとき)	89.5	85.6	84.8	84.3
39	授業では、生徒の間で話し合う活動をよく行っていたと思いますか(1, 2年生のとき)	86.0	83.7	77.9	77.7
40	授業では、学級やグループの中で自分たちで課題を立てて、その解決に向けて情報を集め、話し合いながら整理して、発表するなどの学習活動に取り組んでいたと思いますか(1, 2年生のとき)	73.4			
41	授業では、はじめに授業の目標(めあて・ねらい)が示されていたと思いますか(1, 2年生のとき)	90.0	84.4	82.9	
42	授業では、最後に学習内容を振り返る活動をよく行っていたと思いますか(1, 2年生のとき)	64.9	58.8	57.0	
43	授業で扱うノートには、学習の目標(めあて・ねらい)とまとめを書いていたと思いますか	79.4			
44	400字詰め原稿用紙2~3枚の感想文や説明文を書くのは難しいと思いますか	62.5	65.5	67.2	72.7
45	学校の授業などで、自分の考えを他の人に説明したり、文章を書いたりするのは難しいと思いますか	61.6	63.9	67.2	71.4
46	生徒の間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか	65.5	65.6		
47	授業の中で分からないことがあったら、どうすることが多いですか(友達に尋ねる)	44.3	44.0	47.7	
48	国語の勉強は好きですか	59.2	58.4	57.2	56.6

平成27年度全国学力・学習状況調査

【中学校】質問紙調査結果から

4年間の比較

※斜線は質問項目がなかったもの

質問	質問事項	H27	H26	H25	H24
		肯定的な回答(%)			
49	国語の勉強は大切だと思いますか	90.2	89.7	88.9	90.6
50	国語の授業内容はよく分かりますか	72.3	70.0	71.2	71.1
51	読書は好きですか	72.1	73.2	73.0	74.3
52	国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	85.9	84.3	83.8	84.0
53	国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしていますか	62.8	58.8	55.9	54.3
54	国語の授業で意見などを発表するとき、うまく伝わるように話の組み立てを工夫していますか	55.5	50.5	48.9	46.2
55	国語の授業で自分の考えを書くとき、考えの理由が分かるように気をつけて書いていますか	65.7	60.4	60.8	60.5
56	国語の授業で文章を読むとき、段落や話のまとめごとに内容を理解しながら読んでいますか	71.0	67.5	63.8	65.0
57	解答を文章で書く問題がありましたが、最後まで解答を書こうと努力しましたか	75.2	68.6	73.5	71.4
58	数学の勉強は好きですか	53.6	53.7	52.1	48.8
59	数学の勉強は大切だと思いますか	83.1	82.4	81.1	82.4
60	数学の授業内容はよく分かりますか	67.6	68.2	66.9	61.4
61	数学ができるようになりたいと思いますか	90.9	90.9	90.8	92.6
62	数学の問題の解き方が分からないときは、諦めずにいろいろな方法を考えますか	68.8	69.2	66.2	63.7
63	数学の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えますか	40.4	39.2	35.9	33.8
64	数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	74.7	73.4	72.3	72.3
65	数学の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないか考えますか	64.3	65.0	63.7	61.6
66	数学の授業で公式やきまりを習うとき、その根拠を理解するようにしていますか	69.5	70.0	68.1	67.4
67	数学の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いていますか	81.2	79.9	79.6	78.7
68	解答を言葉や数、式を使って説明する問題がありましたが、最後まで解答を書こうと努力しましたか	48.9	54.4	42.8	45.0
69	理科の勉強は好きですか	62.7			62.5
70	理科の勉強は大切だと思いますか	72.7			71.3
71	理科の授業の内容はよく分かりますか	67.3			64.1
72	自然の中で遊んだことや自然観察をしたことがありますか	76.4			70.3

平成27年度全国学力・学習状況調査

【中学校】質問紙調査結果から

4年間の比較

※斜線は質問項目がなかったもの

質問	質問事項	H27	H26	H25	H24
		肯定的な回答(%)			
73	理科の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えますか	46.8			36.0
74	理科の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	58.3			54.2
75	将来、理科や科学技術に関係する職業に就きたいと思いますか	23.3			22.4
76	理科の授業で、自分の考えや考察をまわりの人に説明したり、発表したりしていますか	41.5			32.3
77	理科の授業では、理科室で観察や実験をどのくらい行いましたか(月1回以上)	81.1			
78	観察や実験を行うことは好きですか	79.2			76.5
79	理科の授業で、自分の予想をもとに観察や実験の計画を立てていますか	54.9			47.8
80	理科の授業で、観察や実験の結果をもとに考察していますか	65.7			57.2
81	理科の授業で、観察や実験の進め方や考え方が間違っていないかを振り返って考えていますか	56.7			50.6
82	解答を文章などで書く問題がありましたが、最後まで解答を書こうと努力しましたか	51.5			48.1
83	解答時間は十分でしたか(国語A)	94.8	93.0	91.0	94.5
84	解答時間は十分でしたか(国語B)	86.4	80.0	73.8	82.4
85	解答時間は十分でしたか(数学A)	90.4	89.9	81.6	90.8
86	解答時間は十分でしたか(数学B)	76.1	76.6	54.3	73.8
87	解答時間は十分でしたか(理科)	84.8			78.7

学力向上指標(鳥取県の「教育に関する大綱」状況一覧)

※H23年度は調査・アンケート未実施

【学力調査の状況】

		H21年度	H22年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度
◆前年度より、最上位層の割合が全国の割合を上回り、最下位層の割合が全国の割合を下回る(小中)	小6	62.5%	87.5%	75.0%	100.0%	87.5%	60%(6/10)
	中3	87.5%	50.0%	75.0%	100.0%	62.5%	70%(7/10)
◆過去の調査と同一問題の正答率について、全国平均を上回った割合が前年度を上回る(小中)	小6				72.7%	66.7%	100%(3/3)
	中3				85.7%	33.3%	50%(2/4)
◆記述式問題の無解答率について全国平均以下であった割合が前年度の割合より下回る(特に「活用」に関する問題)(小中)	小6				87.5%	100.0%	100%(12/12)
	中3				70.0%	44.4%	40%(6/15)
◆各校が設定した指標の達成(高)	高			H25年新規実施		50.0%	別途

【学び方の質・学習状況】

◆意欲、授業に向かう姿勢	対象	H21年度	H22年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度
「身に付けた知識・技能や経験を生活の中で活用できないか考える」児童生徒の増加(小中) ※算数・数学	小6	61.4%	63.9%	63.8%	65.1%	64.9%	64.8%
	中3	29.4%	31.4%	33.8%	35.9%	39.2%	40.4%
「授業の中で『わかった』、学んだことについて『もっと知りたい』と感じる」児童生徒の増加(小中)	小	少人数学級を活かす学びと指導の創造事業アンケート項目			84.4%	84.5%	別途
	中				78.3%	80.1%	別途
「学校の授業は、内容がわかりやすく、勉強することの充実感を感じる」生徒の増加(高)	高2	実施なし	47.6%	50.2%	69.4%	69.9%	別途
「児童生徒の様々な考えを引き出したり、思考を深めたりする発問や指導をする」学校の増加(小中)、教員の増加(高)	小学校	94.3%	92.0%	98.1%	95.3%	95.5%	96.2%
	中学校	92.3%	97.1%	92.0%	92.0%	93.7%	92.1%
	高校教員	実施なし	77.0%	80.5%	89.6%	90.2%	別途

◆体験活動・読書活動の実施状況

「授業で体験的な学習を取り入れている」学校の増加(小中)	小	少人数学級を活かす学びと指導の創造事業アンケート項目			92.6%	89.5%	別途
	中				77.5%	78.1%	別途
「全校一斉読書に取り組む」学校の増加(小中高)	小学校	100.0%	100.0%	98.1%	100.0%	99.3%	99.3%
	中学校	95.4%	97.1%	100.0%	95.3%	92.0%	90.5%
	高等学校	45.8%	87.5%	87.5%	91.6%	83.3%	別途
「読書が好きである」児童生徒の増加(小中高)	小6	74.9%	74.2%	75.1%	74.7%	75.5%	74.5%
	中3	73.2%	73.5%	74.3%	73.0%	73.2%	72.1%
	高2	H25年新規項目			68.2%	64.8%	別途

◆家庭における学習等の状況

「家で、自分で計画を立てて勉強している」児童生徒の増加(小中高)	小6	55.1%	57.4%	57.2%	61.8%	65.3%	64.9%
	中3	36.9%	41.3%	43.8%	46.2%	47.1%	50.2%
	高2	実施なし	29.0%	36.0%	39.4%	37.9%	別途
「進んで取り組んでいることを褒めている」保護者の増加(小中)	小	少人数学級を活かす学びと指導の創造事業アンケート項目			84.6%	86.1%	別途
	中				76.9%	78.3%	別途
「生徒に対する国語・算数(数学)の指導として、保護者に対して家庭学習を促すような働きかけを行う」学校の増加(小中)	小学校	97.6%	92.1%	96.6%	98.5%	97.0%	94.8%
	中学校	63.1%	46.1%	62.5%	62.0%	87.3%	68.2%

【豊かに生きる共に生きる力の状況】

◆自分自身や他者、社会等との関わりに関する意識

	対象	H21年度	H22年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度
「難しいことでも失敗を恐れなくて挑戦している」児童生徒の増加(小中高)	小6	73.1%	71.6%	項目なし	76.3%	78.1%	77.2%
	中3	57.7%	60.1%		65.9%	68.1%	69.1%
	高2	実施なし	30.4%	40.4%	53.9%	61.4%	別途
「ボランティア活動に参加している」児童生徒の増加(小中高)	小6				44.5%	該当項目なし	
	中3	H25年新規項目			52.8%		
	高2				23.0%	25.8%	別途

◆進路に向けた意識

「将来の夢や目標を持っている」児童生徒の増加(小中高)	小6	84.7%	85.9%	84.8%	85.3%	85.9%	84.9%
	中3	69.1%	68.9%	71.7%	70.9%	69.4%	70.6%
	高2	H25年新規項目			77.1%	76.7%	別途
「[あの人のようになりたい]と思う人がいる」児童生徒の増加(小中)	小6	H25年新規項目			77.5%	該当項目なし	
	中3				71.3%		
「自分の進路を実現するために、目標に向かって努力している」生徒の増加(高)	高2	実施なし	46.8%	55.8%	67.2%	69.0%	別途

◆地域社会への参画状況

「地域の行事に参加している」児童生徒の増加(小中高)	小6	76.1%	76.1%	77.9%	79.1%	83.2%	81.5%
	中3	43.7%	43.9%	44.6%	48.7%	52.2%	53.9%
	高2	実施なし	23.7%	30.5%	30.8%	38.6%	別途
「地域の大人(学校や塾・習い事の先生を除く)から褒められたことがある」児童生徒の増加(小中)	小6	H25年新規項目			64.8%	該当項目なし	
	中3				52.7%		

「鳥取県生活困窮世帯等の子どもの教育環境向上のための推進協議会」の開催概要について

平成27年9月14日
福祉保健課
小中学校課

次のとおり「第2回鳥取県生活困窮者世帯等の子どもの教育環境向上のための推進協議会」を開催しましたので、報告します。

1 開催状況

- (1) 開催日時 平成27年9月8日 (火) 午後1時30分～4時
- (2) 開催場所 ホテルセントパレス倉吉
- (3) 出席者 [市町村] 福祉、児童部局、教育委員会事務局、スクールソーシャルワーカー
[県] 福祉保健部、教育委員会事務局、中部・西部総合事務所福祉保健局
[その他] 県、市町村社会福祉協議会 67名

2 内容(先進事例等の研修)

(1) 高知市の生活保護業務と学習支援の概要について

<講師> 高知市教育委員会学校教育課指導主事 藤村 正和

高知市健康福祉部福祉管理課福祉企画担当係長 佐々木恵一

<概要> 高知市教育委員会が運営を執行委員会に委託し、福祉事務所の就学促進員を通じて生活保護世帯の子どもが参加するように取り組んでいる高知市チャレンジ塾について話をうかがった。

【高知市チャレンジ塾の概要】

- ① 目的 生活保護世帯等の高知市内の中学1年生から3年生までの生徒の学習の場を設け、学習支援・進学支援を継続的に行うことにより、高等学校進学や、生徒が将来への希望をもって進路を選択できるようにする。
- ② 実施主体 高知チャレンジ塾実行委員会(教職員退職者で構成する高知教育シニア・ネットワークが母体)
- ③ 対象者 生活保護世帯等の高知市内の中学1年生から3年生。
- ④ 場所 市内の中学校区に1カ所程度設置。市内10カ所(市民会館、図書館等)中学生が自転車で通学できる範囲。
- ⑤ 参加費 無料
- ⑥ 参加人数 登録数307名(平成26年度)
- ⑦ 時間 週2回 平日の夕方2時間
- ⑧ 募集方法 就学支援員が生活保護世帯を訪問し参加を促す。一般世帯の子どもは公立中学校に高知チャレンジ塾のポスターを掲示し、参加希望者は担任を通じて申し込みをする。
- ⑨ 学習内容 宿題をはじめ学習でわからないところを明らかにして、学習支援員(教職員OB等ボランティア70名)が個別指導して基礎学力の定着を図る。

(2) 子どもの貧困対策における生活困窮世帯の子どもの学習支援等

<講師> 厚生労働省社会・援護局 生活困窮者自立支援室 室長補佐 奥出 吉規

<概要> 子どもの貧困対策推進に関する学習支援を含む生活困窮者対策の現在の施策と平成28年概算要求中の施策等について説明を受けた。

(平成28年度概算要求中の主なもの)

・子どもの学習支援の充実・強化・学習支援事業について高校中退防止等及び家庭訪問の取組を強化。生活福祉資金(教育支援資金)の拡充。

3 今後の活動予定

平成27年10月頃に圏域ごとに協議会を開催(東部、中部、西部)し、教育環境向上のための取組や来年度予算に向けての意見交換をする。

平成27年度第2回鳥取県特別支援学校における医療的ケア運営協議会の概要について

平成27年9月14日
特別支援教育課

本県の特別支援学校における医療的ケアについて、実施体制の整備と充実に向けた検討をするため、第2回鳥取県特別支援学校における医療的ケア運営協議会を開催しましたので、その概要を報告します。

- 1 日時 平成27年9月4日（金）午後2時から4時まで
- 2 場所 西部総合事務所
- 3 協議内容

(1) 常勤看護師について

【提案】

常勤看護師を中心として、学部主事・自立活動部長、特別支援教育コーディネーター、養護教諭が連携した医療的ケアの実施体制を提案し、意見を求めた。

【意見】

- ・各学校の実情や独自性も考えた上で、常勤看護師、養護教諭等の役割などを整理することが必要である。
- ・主治医や校医との関わりや役割についても整理が必要である。
- ・看護師の授業への関わり方について、どのように考えるのか整理が必要である。
- ・学校看護師としての専門性の向上のため、看護師に対する系統的・段階的な研修プログラムが必要である。

(2) 教育支援チーム派遣について

【提案】

就学先決定に関して市町村への助言・支援を目的としている「教育支援チーム」の業務を拡充し、チーム編成の考え方（東・中・西の圏域ごとに1チーム、県内に1チーム、左の混合型）を提案するとともに、県立特別支援学校における医療的ケア実施に関する助言や学びの場の設定に関する助言を受けることができるためのチーム派遣のあり方について意見を求めた。

【意見】

- ・チームの派遣目的を整理する必要がある。
- ・チームが関わる事例は、教育形態（通学か訪問か など）に関わるものとしてはどうか。

(3) 「医療的ケアが必要な県立特別支援学校幼児児童生徒学習支援事業実施要項」の変更点について

【提案】

以下の要項改正を提案し、意見を求めた。

- ・医療的ケアの実施内容に変更がある場合の手続きについて明記すること。
- ・すべてのヒヤリハット事象を県教育委員会に報告すること。（現在は、児童生徒等の身体の状態に関するもののみ報告。）

【意見】

- ・学校における医療的ケアの方針や目的を明確にし、保護者と共通理解できるようにすることが必要である。
- ・ヒヤリハットとアクシデントを整理する必要がある。

(4) 新たな学びの場について

【提案】

医療的処置の依存度や医療的リスクの高い幼児児童生徒を、専門性を生かしてより安全に支えていく新たな学びの場を検討することを提案し、意見を求めた。

(現状の学びの場)

- ・通学可能な児童生徒等が学校に通学して教育を受ける。
- ・通学困難な児童生徒等の家庭等に訪問して教育を実施する。
- ・入院している児童生徒等が病院内の教室で教育を受ける。(鳥取医療センター内)

【意見】

- ・重度の児童生徒等への教育課程編成や指導内容について示すことが必要である。
- ・保護者が学校教育に対してどのように考えているのか、実態をよく把握することが必要である。

4 今後の予定

- ・第3回の会議を10月23日に開催予定である。
- ・今回の議論を踏まえて、上記3(1)～(3)について成案を得る。また、上記3(4)の新たな学びの場については、継続して検討を行う。

【参考】委員等名簿

(1) 委員

氏名	所属	備考
汐田 まどか (しおた まどか)	鳥取県立総合療育センター 副院長	
星加 忠孝 (ほしか ただたか)	鳥取県立中央病院 小児科医長	
勝田 睦子 (かつた むつこ)	鳥取県立皆生養護学校 養護助教諭	
水田 弘見 (みずた ひろみ)	広島県教育委員会特別支援教育課 総括指導主事	
田畑 有望 (たばた ゆみ)	鳥取県立倉吉養護学校 保護者	
仲野 真由美 (なかの まゆみ)	鳥取看護大学 准教授	
玉崎 章子 (たまさき あきこ)	鳥取大学医学部脳神経小児科 助教	欠席
森本 靖子 (もりもと やすこ)	公益社団法人鳥取県看護協会 専務理事	

(2) オブザーバー

氏名	所属
福谷 紀男 (ふくたに のりお)	鳥取県福祉保健部子育て王国推進局子ども発達支援課長
河本 史幸 (かわもと ふみゆき)	鳥取県立皆生養護学校 校長

「第32回全国高校生の手話によるスピーチコンテスト」における鳥取聾学校生徒の入賞について

平成27年9月14日
特別支援教育課

8月29日に東京都内（有楽町朝日ホール）で開催された「第32回全国高校生の手話によるスピーチコンテスト」において、鳥取県立鳥取聾学校の生徒が下記の成績を修めましたので報告します。

記

- 1 入賞者：鳥取県立鳥取聾学校 高等部2年 ^{あらい}新井ほのか
- 2 成績：第3位 ※10位以内に聾学校の生徒が入ったのは全国初
※鳥取聾学校は平成26年度より応募している。
- 3 内容：演題「勇気から拡がる喜び」
(在籍していた鳥取聾学校ひまわり分校小学部5年生時に、交流していた小学校の友だちの前で、勇気を出して自らの聴覚障がいについて話をした経験を振り返り、一步踏み出したことで得られた喜びを伝えたスピーチ)

「全国高校生の手話によるスピーチコンテスト」について

- ・手話の習得やサークル活動に取り組む全国の高校生の活動を奨励するとともに、手話の普及と福祉活動の推進を図るため1984年に第1回目が開催され、本年度第32回を迎えた。(全国聾学校長会が後援を始めた2008年から聴覚障がい者の参加が増加)
- ・コンテストには弁論原稿と映像による審査を経て選抜された10名が出場し、手話と音声によるスピーチ及び手話と音声による審査員との質疑応答を行い、表現力や手話技能を競う。(本年度の応募者は62人)
- ・主催：全日本ろうあ連盟、朝日新聞厚生文化事業団、朝日新聞社
後援：厚生労働省、文部科学省、テレビ朝日福祉文化事業団、日本手話通訳士協会、全国聾学校長会
協力：東京都聴覚障害者連盟
協賛：NEC

「鳥取県キャリア教育推進協力企業」認定制度の創設について

平成27年9月14日

高等学校課

キャリア教育に理解のある企業と鳥取県教育委員会が協定を結び、各県立高等学校の取組を支援することで鳥取県のキャリア教育の一層の推進を図ることを目的として、「鳥取県キャリア教育推進協力企業」認定制度を創設し、このたび同企業の募集を開始しました。

1 募集期間

平成27年8月5日（水）以降

2 認定制度の概要

(1) 推進協力企業とは

主に県内において事業活動を行う企業（事業所、団体等を含む。以下同様）のうち、職業体験の受入等を通じて学習活動の機会を設定する企業や、高校生の発達段階に応じたテーマに基づいた講演・講義等を実施する企業。

(2) 認定手続き等について

- ① 認定を希望する企業は応募用紙を県教育委員会へ提出
↓
- ② 県教育委員会で推進協力企業の認定を決定（随時）
↓
- ③ 県教育委員会と推進協力企業とで協定を締結

* 認定期間は認定を決定した日の属する年度から3年間とする。（更新可）

* 認定を決定し、協定を締結した推進協力企業に対し、認定証を授与

* 平成32年度末までに500社程度と協定締結予定

3 県教育委員会の支援

県教育委員会ホームページ並びに県教育委員会及び関係機関の刊行物等で推進協力企業の取組内容を紹介する。

高等学校における主権者教育の取組状況について

平成27年9月14日
高等学校課

1 主権者教育の目的

本年6月に成立した公職選挙法の一部を改正する法律により、満18歳以上の生徒が投票権を有することとなった。より一層、政治・経済や地域社会への関心を高めるとともに、選挙の大切さの理解を深め、社会の一員としての自覚をもった未来の主権者を育成する。

2 平成27年度の取組

(1) 模擬選挙授業の取組

各県立高校は、平成25年度模擬投票を実施した米子西高等学校の実践や県教育委員会が作成した授業実施案等を活用し、モデル校を中心に授業又は特別活動や総合的な学習の時間の中で、模擬選挙につながる授業等を実施する。

・モデル校で実施する取組 過去の国政選挙等を題材にした模擬投票授業等

モデル校名	模擬選挙授業実施日
鳥取東高校	9月14日(月)実施
倉吉東高校	10月実施予定
米子東高校	9月18日(金)実施予定

・モデル校以外で最低限実施する取組

全ての県立高校で投票体験等の学習を取り入れた取組を年度内に実施する。

米子西高校 6月22日・23日実施 模擬投票授業(米子市選管)

八頭高校 7月9日実施 講演・模擬投票(県選管、八頭町選管)

米子高校 7月21日実施 講演(県選管、米子市選管)

他18校は、モデル校授業研究会後に実施予定

(2) 教員向けの研修会

名称：鳥取県高等学校教育課程研究協議会(地歴公民科部会)

日時：8月4日(火)

講師：選挙管理委員会事務局職員

参加者：29名(県立17校、私立2校)

内容：今年度の取組説明、模擬選挙実施上の留意点説明、質疑応答

備考：モデル校授業研究会でも研修を実施する

(3) 生徒が地域や社会とつながる取組の実施

生徒が卒業後も主体的に社会に参画する基礎力を養うため、各県立高校の生徒が地域社会とつながり、地域の課題を主体的に考察する取組を支援するとともに、「生徒と社会がつながる教育推進事業」として、法や税等について地域の専門家の生の声を聞く取組を全ての県立高校で実施する。

3 今後の取組

- ・平成27年秋以降提供予定の文部科学省・総務省作成の補助教材の活用
- ・平成27年秋以降の文部科学省の通知を踏まえて、小・中・高・特支の体系的な主権者教育の実施計画の作成
- ・県議会事務局・県選管・県教委の三者で主権者教育の進め方を協議し、出前授業や高校生議会(県議会、市町村議会)等への積極的な参加

鳥取県立図書館開館25周年記念シンポジウムの開催について

平成27年9月14日
図 書 館

鳥取県立図書館の開館25周年（平成2年10月に現在地に開館）を記念して、県民、図書館関係者、行政担当者が一堂に会し、地域の情報基盤としての図書館の役割を考え、地域の未来・図書館の未来について語り合うシンポジウムを開催する。

- 1 日 時 平成27年10月2日（金）～3日（土）
- 2 場 所 とりぎん文化会館 第一会議室、県立図書館 大研修室
- 3 主 催 鳥取県立図書館
- 4 後 援 文部科学省、公益社団法人日本図書館協会、鳥取県図書館協会
鳥取県学校図書館協議会、鳥取県公共図書館協議会

5 プログラム

【10月2日（金）】

(1) 開会行事

主催者挨拶 鳥取県知事
来賓挨拶 文部科学省生涯学習政策局社会教育課

(2) 特別講演：「地域活性化を支援する図書館」

濔谷 浩介 氏（日本総合研究所調査部 主席研究員）

(3) 実証報告：「鳥取県立図書館の挑戦」（鳥取県立図書館支援協力課長 小林 隆志）

(4) パネルディスカッション

テーマ：「地方創生に図書館はどう貢献できるのか まちづくりに生きる図書館」
コーディネーター

糸賀 雅児 氏（慶應義塾大学文学部教授・鳥取県政アドバイザー・スタッフ）

パネリスト

伊東 直登 氏（塩尻市立図書館長）、寺谷 誠一郎 氏（智頭町長）

松田 暢子 氏（日野町図書館長）、田中 規靖（鳥取県教育委員会次長）

【10月3日（土）】

(1) 記念講演：「つながる図書館から見たもの ～図書館の未来～」

猪谷 千香 氏（ジャーナリスト、ハフィントンポスト記者）

(2) クロストーク「若手図書館員が語る日本の未来・図書館の未来

～地方創生に貢献する図書館のレファレンス～

ファシリテーター 猪谷 千香 氏（前出）

登壇者 磯谷 奈緒子 氏（海士町立図書館主任司書）

手塚 美希 氏（紫波町図書館専門嘱託員）

高橋 真太郎 氏（鳥取県立図書館司書）

(3) テーマ別トークセッション

テーマ①ビジネス支援 テーマ②くらし支援

※2つのテーマに分かれ、鳥取県立図書館のサービスの概要説明をした後、館内見学。その後、当館職員とフリートークを行う。

第2回鳥取県美術館整備基本構想検討委員会の概要について

平成27年9月14日
博 物 館

1 日 時 平成27年9月8日(火)午後2時から午後4時まで

2 場 所 仁風閣

3 会議の概要

(1) 主な議題(基本構想案は別紙のとおり)

- ・「コンセプト」、「必要な機能」等について
- ・県民意識調査の延期、視察先での質問事項について

(2) 委員会での主な意見

【設置目的を①に絞り込むことについて】

- ・美術館は、古いが重要な文化メディア。結局のところ美術的な「物が集まる倉庫」だと思う。「鳥取県にゆかりのある美術の蓄積・継承」を基礎として、これを世界の中でどう位置付け、発信していくかを考えていく方が良い。
- ・案にある「文化的に豊かな地域を創り上げる」、「県民の創造性を高め地域の文化力を向上させる」といった表現は、芸術に対する県民意識の現状を踏まえ、それにどうアピールしていくかが課題だと考えてのことだと思うが、だからと言って、今回の案に示されたこと全部に取り組もうとすると、持ち堪えられなくなると思う。
- ・質の高い美術をしっかりと収集して市民に見せていく。それ以上は、他の文化施策でカバーするという点でも良いのではないかと。藝住祭やアーティスト・イン・レジデンスは既に県として取り組んでおり、そことの連携を図っていく、補完するという整理もできる。この意味でも、美術館にできる役割を整理して考えるべき。
- ・美術館は、魅力ある都市の一部を担う役割もある。美術館ができたのを契機に、街が再生した例も多い。地域消滅が叫ばれる中で美術館ができることは非常に重要な意味を持つ。こうした地域再生ということも視野に入れて検討すべき。
- ・今回の検討は、博物館の現状・課題整理が出発点。博物館に今あるものを引き継いでいくことを大切にしてほしい。このことがコンセプトの1番目ではないか。その次に、県民が納得できるプラスの部分という構成ではないかと思う。
- ・コンセプトは非常に重要な部分。美術館が何に対して何をもって貢献するのかを確認しておくことが重要。多額の税金を投入するのだから、そこを委員会として確認しておかないと県民に説明ができない。

(事務局コメント)

①が美術館の基本目的であることはそのとおりだが、文化的な地域づくり、地域再生にも貢献するものであり、それが県民にとってどんな意味があるのか、それを県民のためにどのように役立てるのかといったことが、最終目的として見えてくるようにする必要があるので、原案のコンセプトを再構成して次回改めて検討していただく。

【漫画等の取り扱いについて】

- ・美術を次世代に伝える、美術で子ども達を育てるということをもっと強調すべき。
- ・子ども達が創造性を培える場所にするのは重要。子ども達が来易い敷居の低い美術館にすべき。その意味でも、絵画をメインとしながらも、鳥取の特色である漫画、アニメ、映像作品まで枠組みを広げることも考えるべき。漫画は海外への発信力があり、海外からもオタクが足を運んでくれる。

- ・ 美術館が漫画に取り組むのは非常な困難を伴う。漫画原稿の収集は著作権の問題が複雑。美術作品の収集とは別の専門性が必要。他県の漫画ミュージアム等は、年々入館者を大きく減らしており、常に何かのイベントをしていないと、来る人がいなくなる。
- ・ ポップカルチャーは無視できない。ただ、それに特化するなら別だが、単に美術館に入れ込むだけでは、非常にハードルが高い。

(事務局コメント)

両論ありもっと議論が必要。次回以降も検討していただく。

【収蔵庫について】

- ・ 今回美術館を作ることになったのは、博物館の収蔵庫が足りなくなったから。そうした経緯を踏まえれば、美術作品を適切に収集保管できるようにすることが最大の目的ではないか。
- ・ 収蔵庫不足がネックなら収蔵庫だけを別に作ればいいという話になる。そうではなく、こういう目的でこういうコンセプトで、こういう方向に向かっていく、そんな美術館を作りたいということで、県民に説明していくべき。

(事務局コメント)

収蔵庫不足など博物館の抱えている問題が美術館整備検討の契機になったことは確かだが、それは美術館整備の目的というより背景なので、今回は構想の背景について整理した資料を追加提出し、それを踏まえて議論して貰うようにする。

【その他】

- ・ 最近では美術の世界でも聴覚（音楽）的要素を取り入れた取組が見られる。視覚による美術だけではなく、聴覚によるものも含め、芸術全般を取り扱う施設を考えてみるのも良いのでは。

(事務局コメント)

美術館で音楽コンサートといった話もあるので、音楽に関する取組を否定はしないが、音楽など舞台系の芸術のためには、とりぎん文化会館等の施設がある。美術館で全てに対応する必要はなく、美術館は、やはり視覚による美術を主な対象として考えていきたい。

- ・ 現代美術について瀬戸内側には多くの施設があるが、山陰は隣県も含めて「現代美術の過疎地」だと感じる。鳥取県に限らずもう少し広い地域的視野で現代美術の施設を考えてみてはどうか。

(事務局コメント)

現代美術館のある所は、近くに近代美術館等がある。初めて作る場合には、ジェネラルなものから始めるのが普通。そんな中で、現代美術にどう取り組むのが良いかは今後検討。

4 今後の対応

次回の委員会（10月下旬又は11月上旬開催予定）では、当初予定していた「立地条件、施設設備」について事務局案を提示するとともに、再度、コンセプト等について議論していただく。

鳥取県美術館整備基本構想検討委員会委員名簿

氏名	役職等	出欠
はやしだ ひでき 林田 英樹	日本工芸会理事長、元文化庁長官、元国立科学博物館長、 元国立新美術館長	出席
はんた まさゆき 半田 昌之	日本博物館協会専務理事、元たばこと塩の博物館学芸部長	欠席
みずさわ つとむ 水沢 勉	神奈川県立近代美術館館長、元県立博物館美術品収集評価委員	欠席
ふくしま のりやす 福嶋 敬恭	彫刻家、京都市立芸術大学名誉教授	出席
こいずみ もとひろ 小泉 元宏	鳥取大学地域学部准教授	出席
もりぐち まどか 森口 まどか	美術評論家、宝塚大学造形芸術学部准教授	出席
きぬがさ ゆきお 衣笠 幸雄	(株)TBSサービス社長、元TBS常務取締役	出席
まつもと かずお 松本 一夫	鳥取県公民館連合会理事、境港市渡公民館長	出席
よこやま かおる 横山 薫	鳥取県PTA協議会副会長	出席
きたむら じゅんこ 北村 順子	鳥取市立宝木小学校校長	出席
たけがみ じゅんこ 竹上 順子	米子商工会議所女性会理事、(株)インタープロス代表取締役	欠席
ほんじょう みさこ 本城 美佐子	鳥取演劇鑑賞会事務局長	出席
たむら しづみ 田村 閑美	鳥取女性中央会会長、倉吉異業種交流プラザ会長	出席
たにもと さとみ 谷本 里美	公募委員	出席
くるま なおき 来間 直樹	公募委員	出席

鳥取県立美術館整備基本構想（案）

H27/9/8

1 コンセプト

(1) 設置目的

- ①鳥取県にゆかりのある美術の蓄積・継承に努めるとともに、国内外の優れた美術を鑑賞・学習する機会を県民に提供する。

〈アドバイザー〉 松本透氏〔A1〕、〔A5〕、〔B1〕 南雄介氏〔A1〕、〔B6〕 守安収氏〔A1〕

- ②美術を介して県内外の様々な人と人を結び付け、多彩な美術に親しめるようにすることで、多様な価値観が共存する文化的に豊かな地域を創り上げる。

〈現状課題報告書〉 P35 と P39 の冒頭部分

〈アドバイザー〉 松本透氏〔B1〕 稲庭彩和子氏〔C1〕

- ③県民の創造性を高めて地域の文化力を向上させることにより、鳥取県の文化的な個性や魅力を高めて県内外から多くの人を引き付け、新たな交流と発展の核となる。

〈現状課題報告書〉 P35 と P39 の冒頭部分

〈アドバイザー〉 守安収氏〔B1〕 稲庭彩和子氏〔C1〕

参考

《アドバイザー意見概要》

○松本透氏

- ・展示、収集のいずれについても県と関わる部分と県を超えた部門、二つの軸足を置いて活動する必要があると感じる。〔A1〕
- ・コレクションの展示を充実させて、市民が日常的に通う空間として美術館を実現することが理想的である。〔B1〕

○南雄介氏

- ・前田寛治や辻晋堂といった主要作家については今後も収集を続けるべきと考える。〔B6〕

○守安収氏

- ・岡山県立美術館の場合は開館以来、「岡山の美術」にこだわり、岡山ゆかりの作家と作品を収蔵してきた。（略）時間をかけて「岡山の美術」を伝えることを使命としてきた。〔A1〕

《現状・課題報告書》

P35 1 県民との連携・地域への貢献

- ・地域と共に生きる博物館として、県民ニーズに即した活動を展開し、県民の参画・利用を促進するとともに、地域の様々な団体や機関と連携・協力していくことが大切である。
- ・全国そして世界に向けて発信する枠組みの中で、人と物、人與人、過去と未来、地域の内と外を繋ぐ結節点として機能させ、内外の様々なヒト、モノ、コトが集う場としなければならない。

P39 1 県民連携・地域貢献の方策

- ・地域で学術文化の振興に資する取組を行う館外の様々な主体との協働態勢を強化し、これまでの枠にとらわれずに地域の活性化に役立つ取組を積極的に展開して、本県のアイデンティティを分かり易く発信することが重要である。

(2) 基本的な在り方

- ①鳥取県立博物館の美術部門の活動や成果を引き継ぎ、美術に関する収集保管、展示、調査研究、教育普及など美術館としての基本的な活動を県民ニーズに即した形で展開することにより、県民が美術の素晴らしさを体感することができる社会教育施設。

〈現状課題報告書〉 P35 と P39 の冒頭部分、P43 の冒頭部分

- ②美術に関心のある人々が、お年寄りから子ども達まで、美術の愛好者だけでなく一般の方も、気軽に訪れて美術を介して交流し、様々な団体や機関、個人が結集して主体的に参画・協働する、あらゆる者に開かれた空間。

〈現状課題報告書〉 P35 の冒頭部分、1の②、P56 (3)①

〈アドバイザー〉 稲庭彩和子氏〔C17〕

- ③美術をめぐる県内外の多様な交流の結節点となり、様々なヒト・モノ・コトが集う場となって、県民が多彩な美術に触れて創造性を高められると同時に、鳥取県の文化的な個性や魅力を全国・世界へと発信して、多くの人を引き付ける、新たな可能性にあふれた賑わいの拠点。

〈現状課題報告書〉 P35 と P39 の冒頭部分

〈アドバイザー〉 稲庭彩和子氏〔C1〕

参考

《アドバイザー意見概要》

○稲庭彩和子氏

- 福祉と美術の関係が注目され、高齢者が重要な対象として浮かび上がっている。国立西洋美術館では認知症の方を対象とした鑑賞プログラムを研究している。東京都美術館では発達障害の子どもたちや障がい者手帳をもっている人に特化したプログラムも行ったことがあり、その際には40名の「とびラー」(*)が対応した。平塚市美術館では乳児を対象にした展示があり、都美術館でも未就学児を対象とした展覧会を昨年企画した。〔C17〕

*「とびラー」とは、東京都美術館と東京藝術大学が連携する「アートによるコミュニティ育成事業」において人と作品、人と人、人と場所をつなぐ役割を担う一般の美術ファン。

《現状・課題報告書》

P35 1 県民との連携・地域への貢献

- 県が設置する社会教育施設である県博の活動は、県民の教育・学術・文化の発展に寄与し、地域の活性化に貢献するものでなければならない。
- 地域と共に生きる博物館として、県民ニーズに即した活動を展開し、県民の参画・利用を促進するとともに、地域の様々な団体や機関と連携・協力していくことが大切である。
- 全国そして世界に向けて発信する枠組みの中で、人と物、人と人、過去と未来、地域の内と外を繋ぐ結節点として機能させ、内外の様々なヒト、モノ、コトが集う場としなければならない。

P35 1 ②

- 学生・生徒・児童や幼児・障がい者・高齢者の利用も促進するため、入館料減免に止まらず、それらの者を対象にした展示や講座等を積極的に実施することが必要。特に子供達に対して、優れた芸術作品に触れたり、県の歴史やアイデンティティを伝えて愛着や誇りを持てるようにしたり、自然や科学を実物や体験を通して学んだりする機会を与えることが重要。

P39 1 県民との連携・地域への貢献

- ・県博の事業や活動を県民の力で充実させ、より地域や県民に根付いたものとして、県民が知的な楽しさや、考える喜びを体感でき、まさに自分達の博物館だと思って貰える施設にしていかなければならない。

P43 2 多様なニーズに対応した基本業務の展開方策

- ・昨今は、ものの豊かさよりもこころの豊かさを求める人が増え、地方における文化政策の重要性が高まって、各地で大型の博物館や美術館の建設が進んでいる。本県でも、県民ニーズの高度・多様化は進んでいるが、県博の現状は、現在の施設では最早そうしたニーズに応えていくのが困難なところまで来ており、博物館の基本業務たる貴重な資料の収集保管、展示、調査研究及び教育普及活動に支障が生じかねない状況となっている。

P56 (3) ①

- ・多くの方が訪れ易い中心市街地等に設置して、本県ゆかりの作家の作品や、全国的・世界的な美術の名品に、県民が日常的に親しめるようにする施設（美術を余り特別なものと考えず、日常の一部として楽しめるようにすべきとの考えからか、最近設置される美術館には、このタイプが多い。）

2 必要な機能

(1) 収集保管

- ①鳥取県にゆかりのあるものを中心に、優れた美術作品や貴重な関係資料を、国内法規や国際協定等を遵守しつつ、体系的・計画的に収集し、そのコレクションを継続的に充実させていくことができる機能。

〈現状課題報告書〉P36 (1)、P37 3(1)②、P38 3(1)④

〈アドバイザー〉 松本透氏 [A5]、[B1] 南雄介氏 [B6]

- ②収集した美術作品等に関する情報を適切に記録・管理し、随時調査研究等に活用・提供する機能。

〈現状課題報告書〉P36 (1)、P43 2(1)①、P36 (4)

〈アドバイザー〉 松本透氏 [D5] 南雄介氏 [D5]

- ③収集した美術作品等を次世代に継承するために温湿度や照明が最適に保たれ、災害等に対しても安全な環境の下で適切に保存、管理することができる機能。

〈現状課題報告書〉P36 (1) ②

〈アドバイザー〉 南雄介氏 [E5]

参考

《アドバイザー意見概要》

○松本透氏

- ・県立美術館として特色を出すためには収集基準「郷土作家とつながりをもつ国内外の作家の優れた美術作品」を充実させるのがよいのではないか。例えば1930年協会(*)関連の作家を系統的にコレクションしている美術館はないと思う。[A5]

*「1930年協会」とは、1926年里見勝蔵、前田寛治、小島善太郎らによって結成された美術団体。名称はフランスのミレー、コローらが1830年派と呼ばれたことにちなむ。写実主義よりも20世紀初頭のフランスに興ったフォービズムの作風を示した。

- ・コレクションの展示を充実させて、市民が日常的に通う空間として美術館を実現することが理想的である。[B1]

○南雄介氏

- ・前田寛治や辻晋堂といった主要作家については今後も収集を続けるべきと考える。[B6]
- ・鳥取でも前田寛治や辻晋堂といった主要作家については作品のみならず関連資料も集めて、アーカイブ的な機能を含めて整備するのがよい。[D5]
- ・震災を経験した後に建設するのであるから、免震構造を組み入れる必要がある。津波への配慮も必要。[E5]

《現状・課題報告書》

P36 (1) ②

- ・収蔵資料が大幅に増加したため、収蔵庫内は過密状態となり、一般倉庫や通路部分などを転用しているのが実情であり、その結果、全ての資料を適切な環境の下で管理しているとは言えない状況になっている。これでは、県博の保有する貴重な資料の保護・保全が困難となるのみならず、他館等からの資料借用にも問題が生ずる。

県博で展示・保管する資料が、温湿度や光量、空気環境が適切に制御された室内で適切に管理していけるよう、早急な対応が必要

P36 (4)

- ・博物館学分野の調査研究に取り組むとともに、資料の収集、保存、研究等の業務が効率的に行えるよう、収蔵庫、修復室、研究室等を適切に配置することが必要

P37 3(1)②

- ・年度及び中長期における県博の（中略）収集保管（中略）の重点や方向性を示す方針・計画を策定することが必要。

P38 3(1)④

- ・博物館活動に関する法令・条約集を備え付け、資料収集等を適切に行うための倫理規程やガイドラインも整備することが必要

P43 2(1)①

- ・全ての収蔵資料（作家の周辺資料を含む）に関する情報（保管場所を含む）を記録した台帳の他、必要な資料については公開用の目録も整備する。

(2) 展示

- ①収集した美術作品をなるべく多く県民に鑑賞してもらうため、主要な作家や作品は常に展示することができる機能。

〈現状課題報告書〉 P36 (2)

〈アドバイザー〉 松本透氏 [B3] 南雄介氏 [B3]

- ②県民の多様な関心や興味に応えつつ、時代の潮流や美術の動向に即して、大型作品も含め、国内外の優れた美術品を紹介するための特別展示を適切な展示環境の下で行うことができる機能。

〈現状課題報告書〉 P36 (2)

- ③年齢や言語、障がい等にかかわらず来場者に親しんでもらえるような展示を行うことができる機能。

〈現状課題報告書〉 P35 1 ②

〈アドバイザー〉 稲庭彩和子氏 [C17]

参考

《アドバイザー意見概要》

○松本透氏

- ・前田寛治や辻晋堂といったすでにコレクションに厚みのある作家については、それぞれに特化した常設展示室を設けることはよいことだと思う。[B3]

○南雄介氏

- ・前田寛治や辻晋堂については個別の展示室があってもよい。(略) [B3]

○稲庭彩和子氏

・福祉と美術の関係が注目され、高齢者が重要な対象として浮かび上がっている。国立西洋美術館では認知症の方を対象とした鑑賞プログラムを研究している。東京都美術館では発達障害の子どもたちや障がい者手帳をもっている人に特化したプログラムも行ったことがあり、その際には40名の「とびラー」が対応した。平塚市美術館では乳児を対象にした展示があり、都美術館でも未就学児を対象とした展覧会を昨年企画した。〔C17〕

《現状・課題報告書》

P35 1②

・学生・生徒・児童や幼児・障がい者・高齢者の利用も促進するため、入館料減免に止まらず、それらの者を対象にした展示や講座等を積極的に実施することが必要。特に子供達に対して、優れた芸術作品に触れたり、県の歴史やアイデンティティを伝えて愛着や誇りを持てるようにしたり、自然や科学を実物や体験を通して学んだりする機会を与えることが重要

P36 (2)

・固定化・陳腐化しないよう常設展示の更新を機動的・計画的に行いつつ、主要な資料を常設的に展示する。大型資料も受け入れることが可能なゆとりある展示空間を確保し、可動壁など最新の設備を備え付けて、体験型など多様な展示方法に対応していくことが必要

(3) 調査研究

①収集した美術作品とそれに関する資料についての調査研究や、美術館の運営・活動に関する調査研究を集中的に行うことができる機能と、調査研究に必要な資料や図書が迅速に参照等することができる機能。

〈現状課題報告書〉 P36 (4)、P43 2(1)①、P44 2(1)④

②調査研究の成果を反映した展覧会を開催し、あるいはその成果を取りまとめた紀要を発行して、成果を県民等に還元することができる機能。

〈アドバイザー〉 ○守安収氏〔D1〕

参考

《アドバイザー意見概要》

○守安収氏

・論文や研究報告を執筆するための紀要の発行が重要。〔D1〕

《現状・課題報告書》

P43 2(1)①

・全ての収蔵資料(作家の周辺資料を含む)に関する情報(保管場所を含む)を記録した台帳の他、必要な資料については公開用の目録も整備する。

P44 2(1)④

・県博の運営改善を進めるため、博物館学に関する調査研究を調査研究プランに明確に位置付け、予算措置等を行う。

(4) 教育普及

- ①多様な県民ニーズに応えつつ、美術に関し、より個別的な学習や体験をする機会（体験講座、ワークショップ、ギャラリートーク、講演会等）を県民に提供するため、様々な手法、資料、設備等を活用することができる機能。

〈現状課題報告書〉 P36 (3)、P43③

- ②年齢や言語、障がい等にかかわらず、様々な人々が参加できるプログラムを提供することができる機能。

〈現状課題報告書〉 P35 1 ②、P41⑧

- ③学芸員等を学校や公民館等に派遣し、上記のようなプログラムを児童・生徒や地域住民等に対しても実施することができる機能。

〈現状課題報告書〉 P35 1 ③、P41⑨

- ④美術館から離れた地域に対しては上記のほか、貸出し等により、美術館の作品や資料に触れる機会を提供することができる機能。

〈現状課題報告書〉 P35 1 ③、P41⑩⑪

参考

《現状・課題報告書》

P35 1 ②

- ・学生・生徒・児童や幼児・障がい者・高齢者の利用も促進するため、入館料減免に止まらず、それらの者を対象にした展示や講座等を積極的に実施することが必要。特に子供達に対して、優れた芸術作品に触れたり、県の歴史やアイデンティティを伝えて愛着や誇りを持てるようにしたり、自然や科学を実物や体験を通して学んだりする機会を与えることが重要

P35 1 ③

- ・県民の主体的な学術文化活動への支援協力を積極的に行い、県博がそうした活動の拠点になるようにするとともに、特に中西部住民の県博利用を促進していくことが必要

P36 (3)

- ・県博の利用を支援する教育普及活動や、県内滞在制作を行う作家との交流取組を推進するとともに、そうした取組でも使える作品制作室、体験学習室などの他、来館者が利用可能な図書・情報コーナーも整備することが必要

(5) 地域・県民との連携・協働

- ①美術に関する県民の自発的な学習を支援するため、学芸員等が専門的な指導・助言を行うとともに、必要に応じて文献や資料の検索、閲覧等のサービスを提供することができる機能。

〈現状課題報告書〉 P35 1 ③、P36 (3)、P41⑨、P43①

- ②県内の他の美術館や大学、企業や団体、NPOなどと協力・連携して文化的に豊かな地域づくりを進めるために、学芸員等の指導・助言、イベントの開催、その他様々な連携事業を推進することができる機能。

〈現状課題報告書〉 P35 1 ①、P35 1 ④、P39～42①～⑦、⑫～⑭

- ③県民の主体的な作品制作、作品発表を支援するために、必要な展示会場を提供することができる機能。

〈現状課題報告書〉 P35 1 ⑤、P42⑯

- ④美術館に滞在して作品を制作する県内外の作家と交流する機会を県民に提供する機能。

〈現状課題報告書〉 P36 (3)、P43③

〈アドバイザー〉 松本透氏 [C5] 南雄介氏 [C5]

参考

《アドバイザー意見概要》

○松本透氏

- ・単に作家を呼んで来て、作品を制作させるのではなく、作家がその場所に根をおろすこと、場との交流が行われることが重要である。作家のための宿泊、制作のスペースを確保したらそれで終わりということではなく、作家と街が結びつくことが重要。現代美術センター・CCA 北九州の場合は、よい作家が来ているが隔離されている感じ。一方、福岡アジア美術館は作家が結構街に出て行くようだ。[C5]

《現状・課題報告書》

P35 1 ①

- ・民間サークル等の協力で実施する普及講座等を拡大し、県博の事業に県民が参画する機会を増やすとともに、ボランティアによる展示解説等も定期的を実施することが必要

P35 1 ③

- ・県民の主体的な学術文化活動への支援協力を積極的に行い、県博がそうした活動の拠点になるようにするとともに、特に中西部住民の県博利用を促進していくことが必要

P35 1 ④

- ・地域の大学等の研究者と学芸員の共同研究を拡充しつつ、それらの機関と連携した取組や事業を積極的に行うとともに、県内の他の博物館、美術館等と役割を分担しあいながら、連携を深めてそれぞれの活動を支援・推進していくことが必要。

P35 1 ⑤

- ・また、展示室を県民ギャラリー的に利用したいとの要望も多い。そうした県民ニーズへの対応についても検討することが必要。

P36 (3)

- ・県博の利用を支援する教育普及活動や、県内滞在制作を行う作家との交流取組を推進するとともに、そうした取組でも使える作品制作室、体験学習室などの他、来館者が利用可能な図書・情報コーナーも整備することが必要

企画展「日本近代洋画への道～山岡コレクションを中心に」の開催について

平成27年9月14日
博 物 館

次のとおり企画展「日本近代洋画への道～山岡コレクションを中心に」を開催します。

1 趣 旨

本展ではヤンマーディーゼル株式会社（現ヤンマー株式会社）の創業者・山岡孫吉^{やまおかまごきち}氏が収集した日本近代洋画史上貴重な作品を中心に、司馬江漢^{しばこうかん}などの幕末の「洋画の萌芽」から、高橋由一^{たかはしゆいち}、五姓田義松^{ごせだよしまつ}などの「洋画の曙」を経て、黒田清輝^{くろだせいき}、藤島武二^{ふじしまたけじ}、青木繁^{あおきしげる}など華々しい「洋画の精華」に至る186点の作品群により日本の近代洋画がどのように成立してきたかを辿る。

- 2 会 期 平成27年10月3日(土)～11月8日(日) 休館日：10月19日(月)
- 3 会 場 鳥取県立博物館 第1・第2・第3特別展示室
- 4 主 催 鳥取県立博物館、新日本海新聞社
- 5 企画協力 公益財団法人日動美術財団
- 6 協 賛 日本通運(株)、(株)モリックスジャパン、(株)吉備総合電設、三和商事(株)
- 7 観 覧 料 一般800円(団体600円)
- 8 出品点数 186点
- 9 会期中のおもな関連事業

■特別講演会Ⅰ「日本近代洋画へのいくつかの分かれ道に立ってみると」

日時／10月24日(土) 14:00～15:30

講師／木下直之氏^{きのしたなおゆき}(東京大学文学部教授(文化資源学))

場所／当館2階講堂 対象・定員／高校生以上・一般、先着250名

■特別講演会Ⅱ「近代日本洋画の歩み」

日時／11月7日(土) 14:00～15:30

講師／古田亮氏^{ふるたりのう}(東京藝術大学大学美術館准教授)

場所／当館2階講堂 対象・定員／高校生以上・一般、先着250名

■ワークショップ「油絵の具をつくろう」

日時／10月17日(土) 14:00～16:00

講師／当館専門員

場所／当館2階会議室 対象・定員／小学生～一般、10名

平成27年度全国中学校体育大会の結果について

平成27年9月14日
体 育 保 健 課

全国中学校体育大会では、水泳（競泳）競技で箕蚊屋中学校の本田選手が男子50m自由形で県勢初の入賞、陸上競技で鳥取市立南中学校の北脇選手が、男子800mで中学県新記録での3位入賞、また男子1500mでは同種目県勢最高順位の2位で入賞、中ノ郷中学校の長谷川選手が男子四種競技で中学山陰記録で2位入賞を果たした。

また、第45回全日本中学生ホッケー選手権大会において八頭中学校女子が準優勝、第12回全日本中学生弓道大会で鳥取市立北中学校女子が5位に入賞を果たした。

ホッケー、弓道は来年度鳥取県で開催される全国高校総体の競技であり、明るい材料となった。

1 全国中学校体育大会

- (1) 期 間 平成27年8月17日～8月25日(駅伝・スキー種目等は別日程)
- (2) 開 催 地 北海道・東北ブロック
- (3) 選 手 団 7競技に選手82名が参加
- (4) 入賞状況

競技名	種 目	氏 名	所 属	順 位
水泳 競泳	男子50m自由形	本 田 海 雅 (3年)	組合立箕蚊屋中	6 位
陸上競技	男子800m	北 脇 秀 人 (3年)	鳥取市立南中	3 位
	男子1500m	北 脇 秀 人 (3年)	鳥取市立南中	2 位
	男子四種競技	長谷川迅平(3年)	鳥取市立中ノ郷中	2 位

※全国中学校体育大会の入賞は6位まで

2 その他

- (1) JOCジュニアオリンピックカップ第45回全日本中学校ホッケー選手権大会
 - ・期 間 平成27年8月15日～8月17日
 - ・開 催 地 新潟県新潟市
 - ・出 場 校 八頭町立八頭中学校男女ホッケー部
 - ・成 績 女子準優勝 男子ベスト8
- (2) 第12回全日本中学生弓道大会 JOCジュニアオリンピックカップ大会
 - ・期 間 平成27年8月21日～8月23日
 - ・開 催 地 東京都渋谷区
 - ・出 場 校 鳥取市立北中学校女子弓道部
 - ・成 績 女子団体5位